

現場説明書(技術的事項)

工事名 旧福山市農村女性の家解体工事

1 現場の状況

工事場所は、旧福山市農村女性の家敷地内です。

工事現場に隣接して沼隈体育センターがあり、テニスコート等の一般利用があります。

2 留意事項

- (1) 工事期間中は工事の安全はもとより、周辺地域及び第三者に対して細心の安全対策を講じてください。
- (2) 解体作業中は散水を十分行い、粉塵対策を講じてください。又、重機による振動には十分注意し、移動の際は最徐行を行う等、周辺工作物等に損傷を与えないよう対策を講じてください。
- (3) 重機や資材の搬出入に際しては、徐行運転及び退出時は一旦停止をするとともに、タイヤ洗浄及び適宜、道路・水路清掃を行ってください。
- (4) 敷地東側前面道路は近隣小学校の児童の通学路となっているため、工事車両等は登下校時間帯を避けて出入りしてください。
- (5) 高所作業にあたっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- (6) 火器の使用を伴う作業の際は、適切な消火対策を講じてください。
- (7) 本工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当するため、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- (8) 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- (9) 契約後は速やかに施工計画書等を提出し、監督員の承諾を受けてください。

3 別途工事

なし

4 工事における「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」ロゴの標示について

「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が 2025 年 5 月 18 日から 24 日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せてください。

5 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としてください。

6 法定外の労災保険の付保について

本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

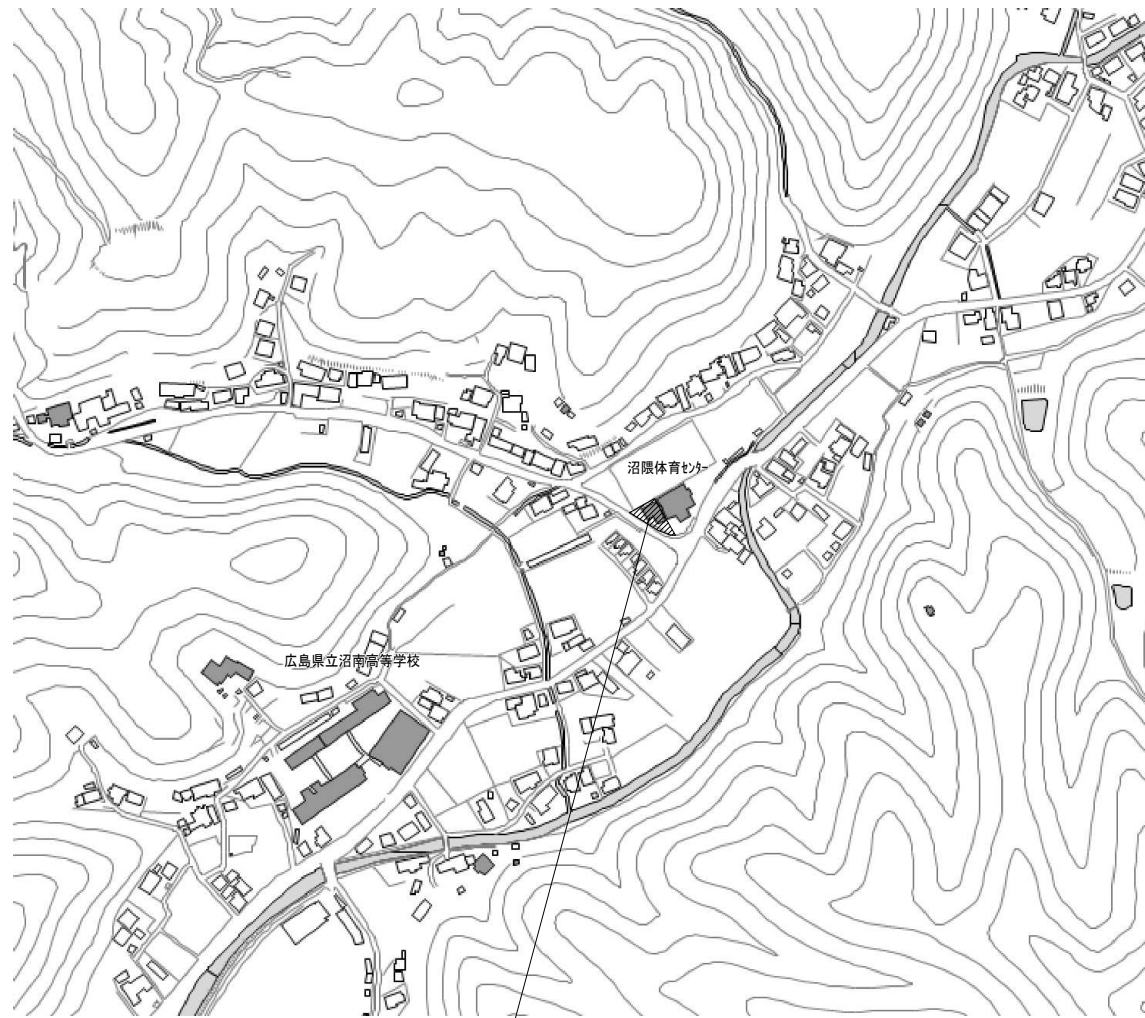
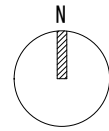
工事名称

旧福山市農村女性の家解体工事

福山市建設局建築部営繕課			2023年 9月		
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項										
5	石綿含有保温材等の除去 (6.4.1~6.4.4)	⑤除去物の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化	⑤		化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの発散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ・ 埋立処分 (・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体撤出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。																
		3) 除去法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 ()																			
		4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①除去した石綿含有吹き付け材等を撤出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入 ・) ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。																			
5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体撤出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。																					
6	石綿含有成形板等の除去 (6.5.1~6.5.4)	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 石綿ケイカル板</td> <td>○ (天井) 農産加工調理研修室、調理室 (増築部) 便所、湯沸室</td> </tr> <tr> <td>○ 石綿ケイカル板</td> <td>○ (壁) 農産加工調理研修室</td> </tr> <tr> <td>○ 塩ビシート貼</td> <td>○ (床) 創作室、ホール、廊下、階段、湯沸室</td> </tr> <tr> <td>○ ビニースタイル</td> <td>○ (床) 創作室物入</td> </tr> <tr> <td>○ アスファルトシングル葺き</td> <td>○ (屋根) 外部屋根2</td> </tr> </tbody> </table>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	○ 石綿ケイカル板	○ (天井) 農産加工調理研修室、調理室 (増築部) 便所、湯沸室	○ 石綿ケイカル板	○ (壁) 農産加工調理研修室	○ 塩ビシート貼	○ (床) 創作室、ホール、廊下、階段、湯沸室	○ ビニースタイル	○ (床) 創作室物入	○ アスファルトシングル葺き	○ (屋根) 外部屋根2							
		石綿含有成形板等の仕様	使用部位																		
○ 石綿ケイカル板	○ (天井) 農産加工調理研修室、調理室 (増築部) 便所、湯沸室																				
○ 石綿ケイカル板	○ (壁) 農産加工調理研修室																				
○ 塩ビシート貼	○ (床) 創作室、ホール、廊下、階段、湯沸室																				
○ ビニースタイル	○ (床) 創作室物入																				
○ アスファルトシングル葺き	○ (屋根) 外部屋根2																				
2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。																					
7	石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の除去	⑤除去物の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化																			
		3) 除去法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 ()																			
		4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①除去した石綿含有吹き付け材等を撤出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入 ・) ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。																			
5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シートの撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。																					
		1) 処理を行う石綿含有仕上塗材 (下地調整塗材含む) の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・											
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																				
・	・																				
・	・																				
・	・																				
		2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生 (負担不要) を行う。																			
		3) 除去法 (施工場所 : ※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤																			





工事場所：福山市沼隈町大字中山南18番地

付近見取図 No Scale

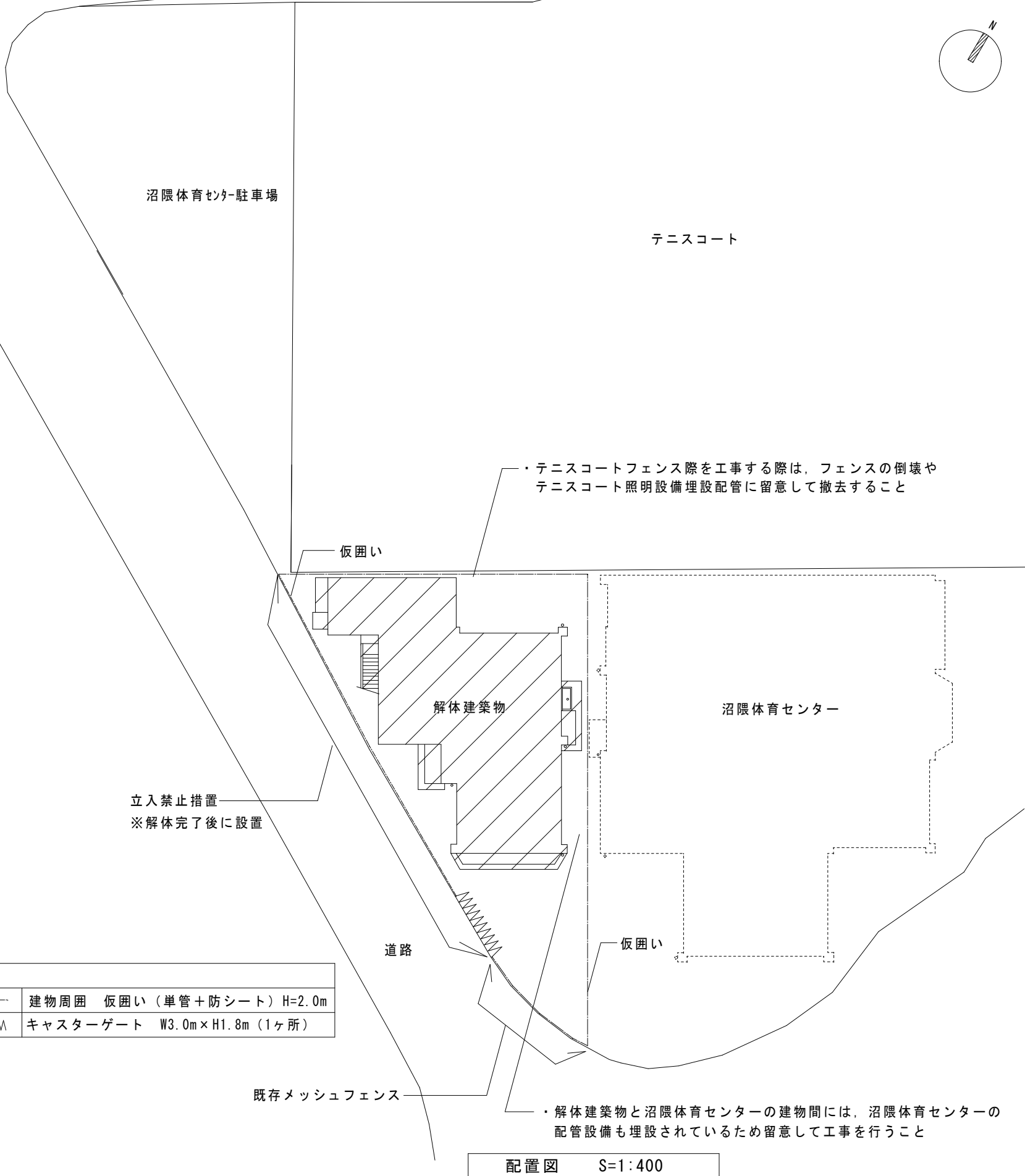
仮設工事特記仕様書

1. 工事車両出入口：キャスターゲート程度とする
2. 仮設図に記載された仮設等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める
3. 仮設計画図は、関係部署及び監督員と十分協議し承諾を得ること

土工事特記仕様書

1. 車両通行部は地均し復旧を行う
2. 整地は水が溜まらない様、現地地盤程度の埋戻しとする。
3. 道路面や側溝に雨水等が流れる恐れがある部分については、沈砂地、排水溝を設けること。

凡例	
	建物周囲 仮囲い (単管+防シート) H=2.0m
	キャスターゲート W3.0m×H1.8m (1ヶ所)



配置図 S=1:400



工事名称 旧福山市農村女性の家解体工事

図面名称 付近見取図・配置図

縮尺 S=1/400

福山市建設局建築部営繕課

2023年 9月

図面No.

4/33

外部仕上表

名称	仕上	名称	仕上
ポーチ	珪藻土床 磁器床用100角タイル貼 92×92×9 役所控室タイル貼	屋外階段	床～珪藻土珪藻土押上、段差～磁器タイル貼 150×66×14、巾木～珪藻土珪藻土押上 H=100 庇持目地切 壁～珪藻土珪藻土引の上アクリル系リシン吹付、段差～合板型枠コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付 手すり壁置木～珪藻土珪藻土押上 W=120、手すり～ステンレス SUS 304 42.7φ×1.65 H.L.仕上、棒型ステンレス 21.5φ×1.65
テラス 出入口	珪藻土珪藻土押上 四半角目地切 磁器タイル貼 150×66×14	金物	タラップ～ステンレス製 W=350
靴箱マツト	珪～ステンレス FB-G×25 600×1200 1ヶ所、マツト～ビニール製、排水目皿～50φ及び排水パイプ～VP 50φ	雨樋	壁樋～硬質塩化ビニールパイプ VP75φ、VP2φ(壁と同色)、巾木金物(巾取品)重鉛メッキ処理品 F.P.2φ 1200φ内外 壁樋蓋蓋管～既設用炭素鋼鋼管(白ガス管)100φ 5ヶ所 F.P.2φ H=1800
基礎側	珪藻土珪藻土押上 GL+500	天井	各室～珪藻土珪藻土押上床、シート防水 珪藻土の1.2トッポコート仕上 W=250 ドーム型ルーフトレイン～新設型珪藻土珪藻土現付(シート防水用コンクリート打放し) 75φ用 5ヶ所
外壁・柱・梁	珪藻土珪藻土引の上アクリル系リシン吹付※3化粧目地 20×20(位置は帯図による。)チオホルネコキック	天井換気孔	ステンレス製 F.P.2φ 80φ 所出網付
屋根.1	珪藻土珪藻土押上床、シート防水露出工法 珪藻土の1.2 シェルコート仕上、正上アクリル系リシン吹付の上アクリル系リシン吹付 葺木～アルミ既製葺木 W=300 (責任施工 10年間保証)	パラペット	カガミ～珪藻土珪藻土床、シングル葺(接着剤、釘打併用) 軒裏～珪藻土珪藻土引の上アクリル系リシン吹付
屋根.2	珪藻土珪藻土押上床 シングル葺(三重シングル SG-10同葺品) 屋根勾配25/100(責任施工 10年間保証)	建具	アルミリッシ、建具廻り珪藻土珪藻土、建具周囲チオホルネコキック
軒裏	珪藻土珪藻土引の上アクリル系リシン吹付※3	その他	屋根マツト丸型 470φ(屋外階段上部)
下洗場	磁器 25角タイル貼、葺木～珪藻土珪藻土押上 W=100		

内部仕上表

階	室名	床	巾木	H	壁	天井	天井高	窓名	天井 取付 取付	備考
1階	玄関	珪藻土床 磁器床用100角タイル貼 92×92×9	チオホルネコキック 木履キ	100	珪藻土珪藻土押上床 2級珪藻土加工、珪藻土クロス貼	北椎石膏ボード張 455×910×9	2.640			下駄箱(木製通リツケ)、 シューズボックス(W=100)
	調理室	珪藻土珪藻土押上床 破産着色床仕上 (カラーシート同葺品)	珪藻土珪藻土押上 目地持目地切	100	RC床～珪藻土珪藻土押上 VP2φ W床～珪藻土珪藻土板アルミ、シート 張 VP2φ ※1	珪藻土珪藻土板目地張 VP2φ 910×910×6 ※1	2.640	○1	○2	物入、急下戸棚、吊戸棚、(木製通リツケ)庇(巾取品)、フット 平面黒板(鋼製アルミ枠 2700×1200)、備え板(アルミ枠 1135×1200) 調理用調理台(1800×900、4台)、収納用調理台(3000×1300、1台)、ステンレス2層流 排水槽 L=1200
	全上物入	ラワン、ベニヤ T2 φ5.5	雑巾張り		ラワン、ベニヤ T2 φ4	ラワン、ベニヤ T2 φ3				中段、天袋
	廊下	珪藻土珪藻土押上床 長尺塩ビシート貼 φ2.5 ※1	ビニール巾木	100	珪藻土珪藻土押上床 多色色模様吹付(シート同葺品)	北椎石膏ボード張 455×910×9	2.540	○1	○1	物入、急下戸棚、作業台
	全上物入	珪藻土珪藻土押上床 ビニールタイル貼 φ2 ※1	雑巾張り		珪藻土珪藻土押上	ラワン、ベニヤ T2 φ3				中段、天袋
	収納庫	珪藻土珪藻土押上	珪藻土珪藻土押上 目地持目地切	100	珪藻土珪藻土押上	段差～合板型枠コンクリート打放し 素地補修			○1	
2階	ホール・廊下	珪藻土珪藻土押上床 長尺塩ビシート貼 φ2.5 ※1	ビニール巾木	100	珪藻土珪藻土押上床 2級珪藻土加工、珪藻土クロス貼	北椎石膏ボード張 455×910×9	2.540		○1	間木板(アルミ枠 1800×900、140mmスパン、シート貼) 電話台、長机棚
	階段	珪藻土珪藻土押上床 ※1 長尺塩ビシート貼 φ2.5(1.5、1.5、1.5)	ビニール巾木 階段用	100	珪藻土珪藻土押上床 2級珪藻土加工、珪藻土クロス貼	北椎石膏ボード張 455×910×9				ステンレスタイル W=35(中塗り珪藻土クロス2本) 葺木(ステンレス SUS 304 φ20φ×135×25)、ステンレス手すり(SUS 304 42.7φ)
	オ1 研習室 オ2 研習室	タタミ敷 φ55 板間～長尺合板製端甲板張φ15 WPC加工化粧単板貼	タタミ敷 雑巾張り	30 30	RC床～珪藻土珪藻土押上床 W床～石膏ボードφ9床 2級珪藻土加工、珪藻土クロス貼	北椎石膏ボード(木目)目地張 440×2730×9	2.540	○2		押入、床ノ間、板間
	押入	ラワン、ベニヤ T2 φ5.5	雑巾張り		ラワン、ベニヤ T2 φ4	ラワン、ベニヤ T2 φ3				中段、天袋
	床ノ間	ラワン、ベニヤ 合板 φ12 取付換付	雑巾張り		RC床～珪藻土珪藻土押上床 W床～石膏ボードφ9床 2級珪藻土加工、珪藻土クロス貼	北椎石膏ボード(木目)目地張 440×2730×9				床柱(北山杉板丸太 φ135φ)、扉柱(トコナメ材、100×100) 蹴り板(杉板 24×240)、用釘1本、漆塗り
	研究所	シート防水の上アクリル系リシン吹付、珪藻土珪藻土押上床 珪藻土の1.2 シェルコート仕上、タイル貼 19φ	珪藻土珪藻土押上		珪藻土珪藻土押上床 半磁器100角タイル貼	珪藻土珪藻土板目地張 VP2φ 910×910×6 ※1	2.400	○1	○1	トイレ(見込40) F.P.2φステンレス籠(SUS 304 φ20φ×100×100)
湯沸室	珪藻土珪藻土押上床 長尺塩ビシート貼 φ2.5 ※1	ビニール巾木	100	流し台廻り～珪藻土珪藻土押上床 半磁器100角タイル貼 H=1200	珪藻土珪藻土押上 VP2φ 910×910×6 ※1	2.540	○1		ステンレス流し台 L=1200、ステンレスコップ L=600、パイプガード(サビ防止用) 吊戸棚 L=600、ガスパイプ 2φ、ステンレス2層流排水槽 L=1800	
廊下	珪藻土珪藻土押上床 長尺塩ビシート貼 φ2.5 ※1	ビニール巾木	100	RC床～珪藻土珪藻土押上床 W床～石膏ボードφ9床 2級珪藻土加工、珪藻土クロス貼	北椎石膏ボード張 455×910×9	2.540		○2	ラワン、ベニヤスタン	

□ 増築部

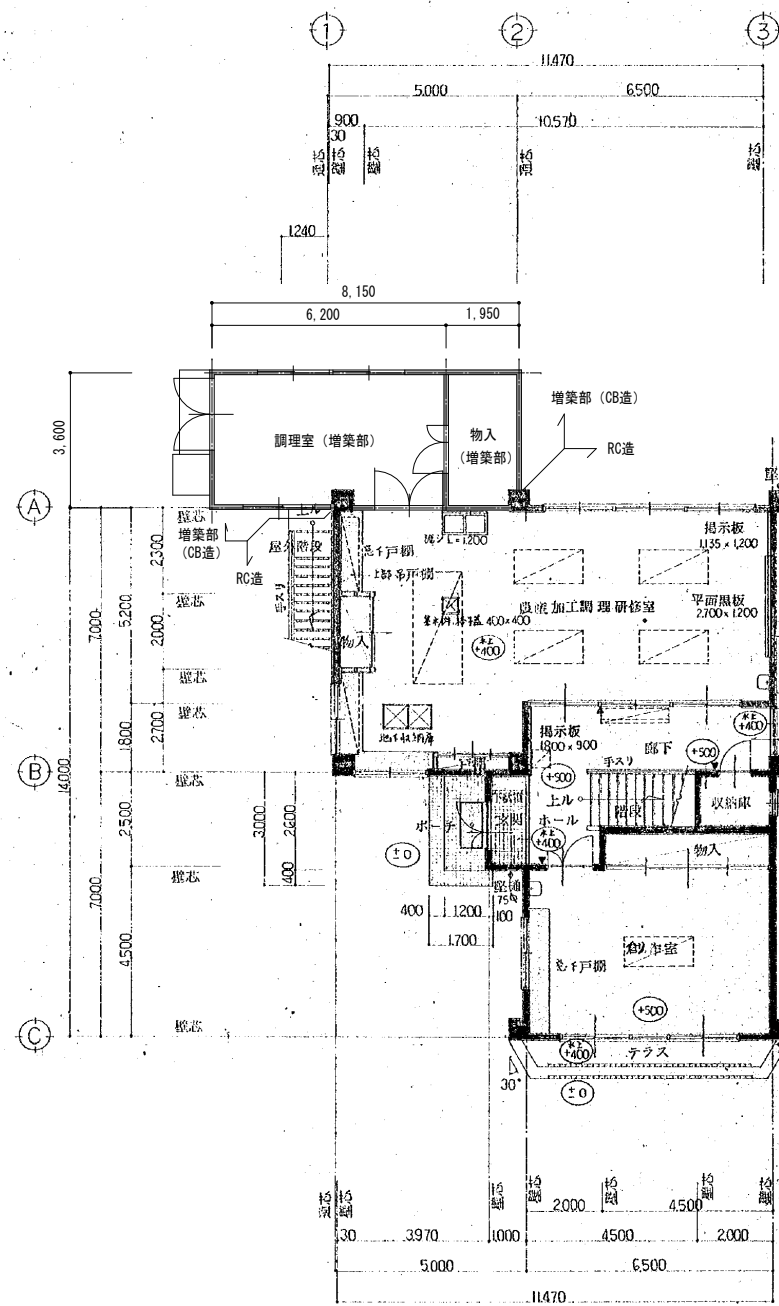
外部仕上表	
外壁(一般部)	補強CB t=150+珪藻土珪藻土引の上アクリル系リシン吹付 ※3
外壁(梁部)	コンクリート打放し+珪藻土珪藻土引の上アクリル系リシン吹付 ※3
巾木	珪藻土珪藻土押上
屋根	ガルバリウム鋼板 t=0.5

内部仕上表					
階	室名	床	壁	天井	天井高
1階	調理室	珪藻土珪藻土押上	珪藻土珪藻土押上	石綿ケイカル板 t=6 ※1 一部 ガルバリウム鋼板貼 t=0.5	2.640
	倉庫	珪藻土珪藻土押上	珪藻土珪藻土押上	石綿ケイカル板 t=6 ※1	2.640

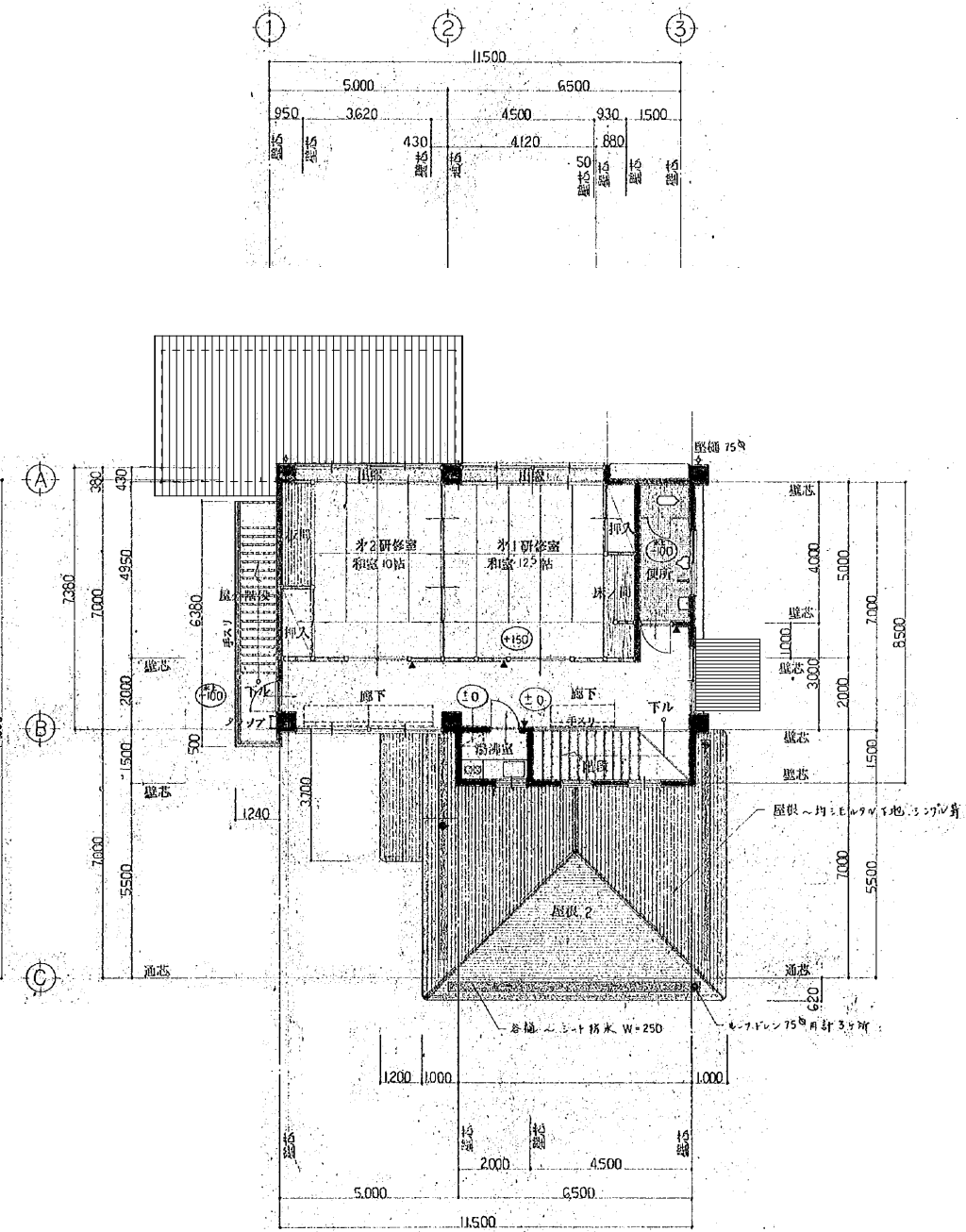
※1 内部床 長尺塩ビシート貼：アスベストみなし含有有とする
内部床 ビニールスタイル貼：アスベストみなし含有有とする
内部壁天井 石綿ケイカル板：アスベストみなし含有有とする

※2 屋根 アスファルトシングル葺：アスベストみなし含有有とする

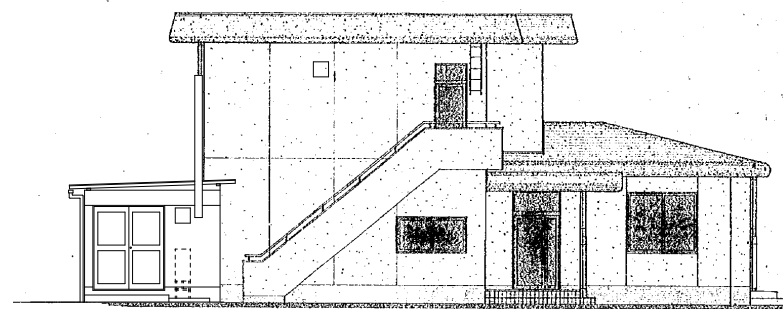
※3 外壁及び軒裏の仕上材はアスベスト含有なし(調査済み)



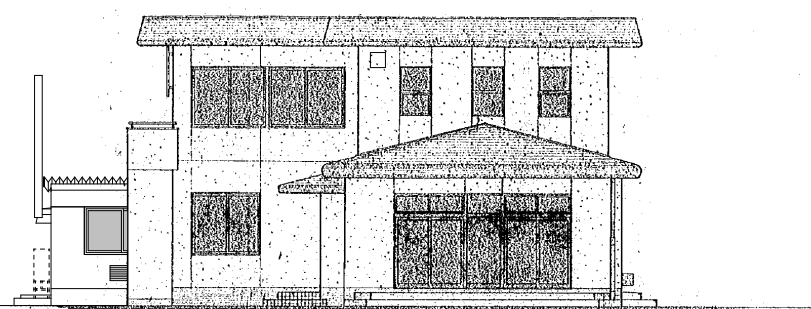
1階平面図 S=1:200



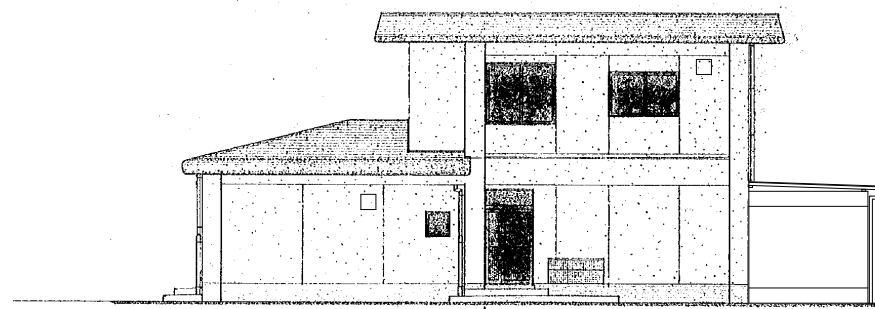
2階平面図 S=1:200



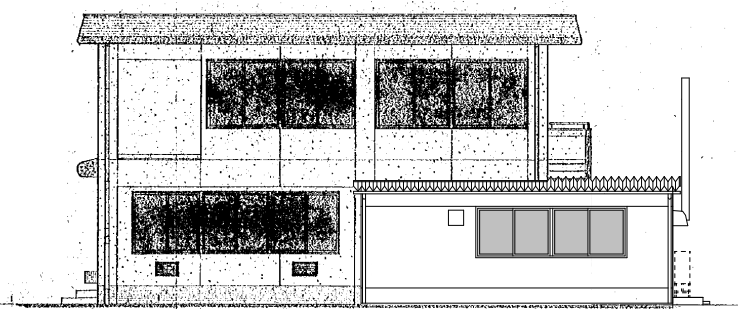
西立面图 S=1:200



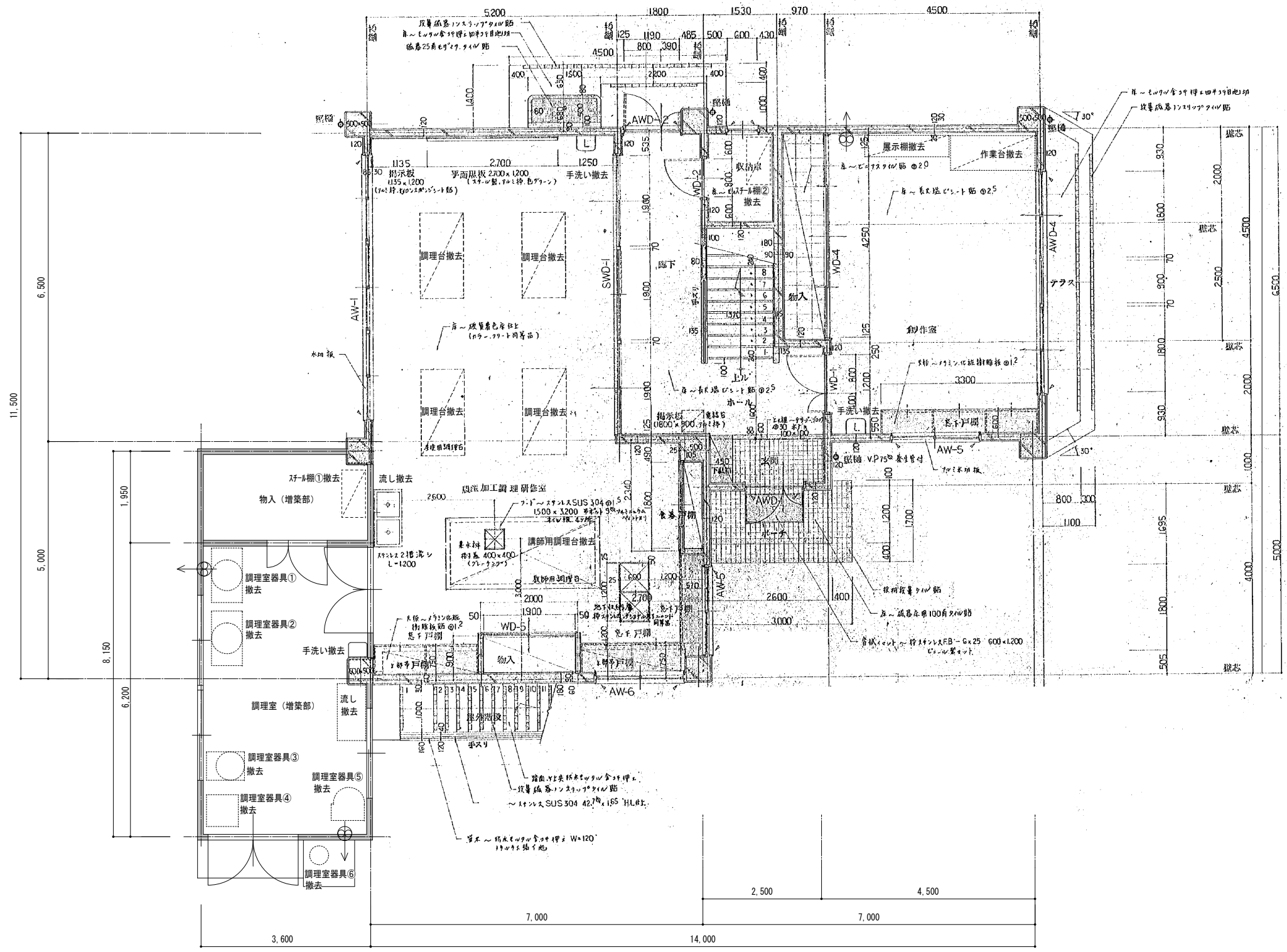
南立面图 S=1:200



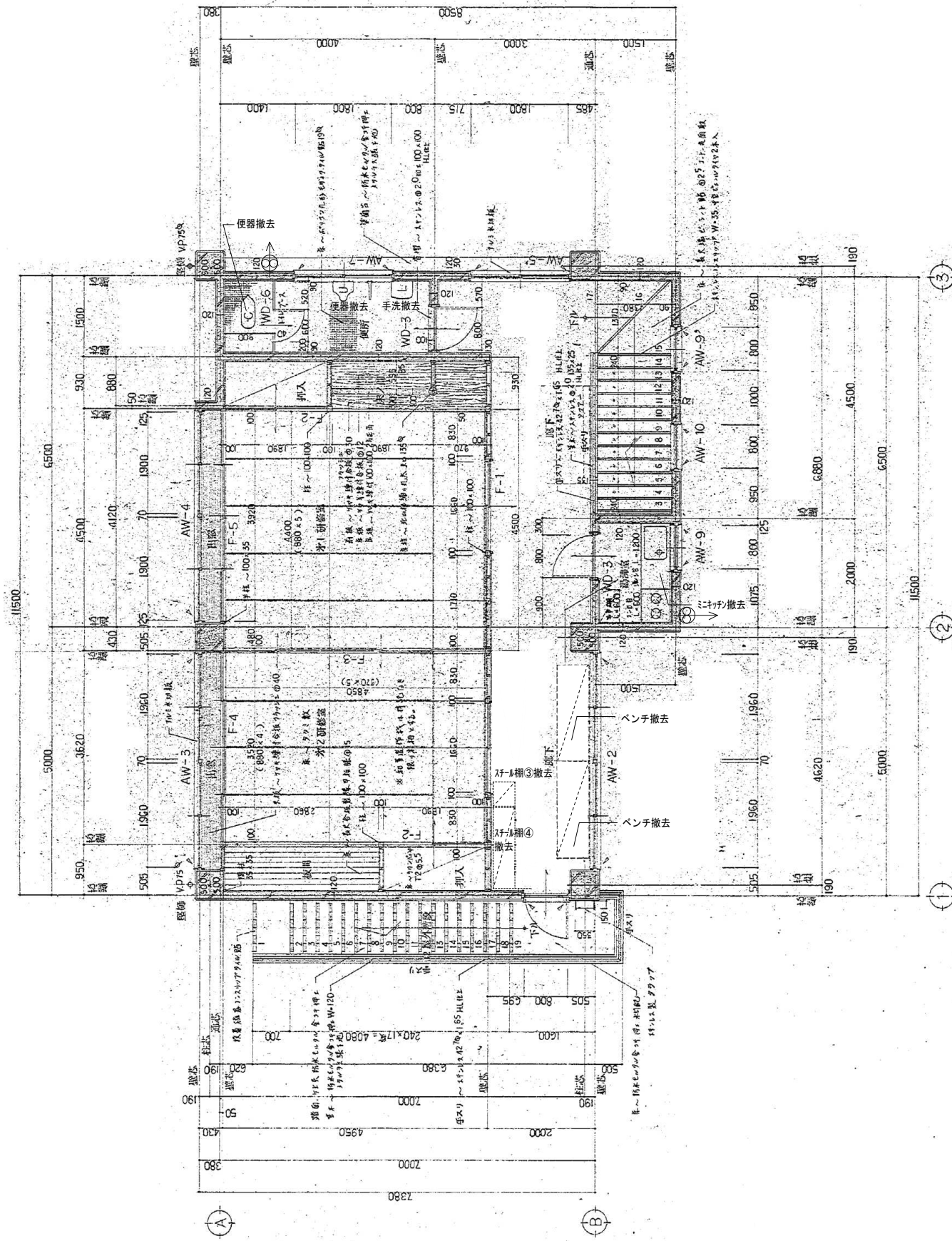
東立面图 S=1:200




北立面图 S=1:200

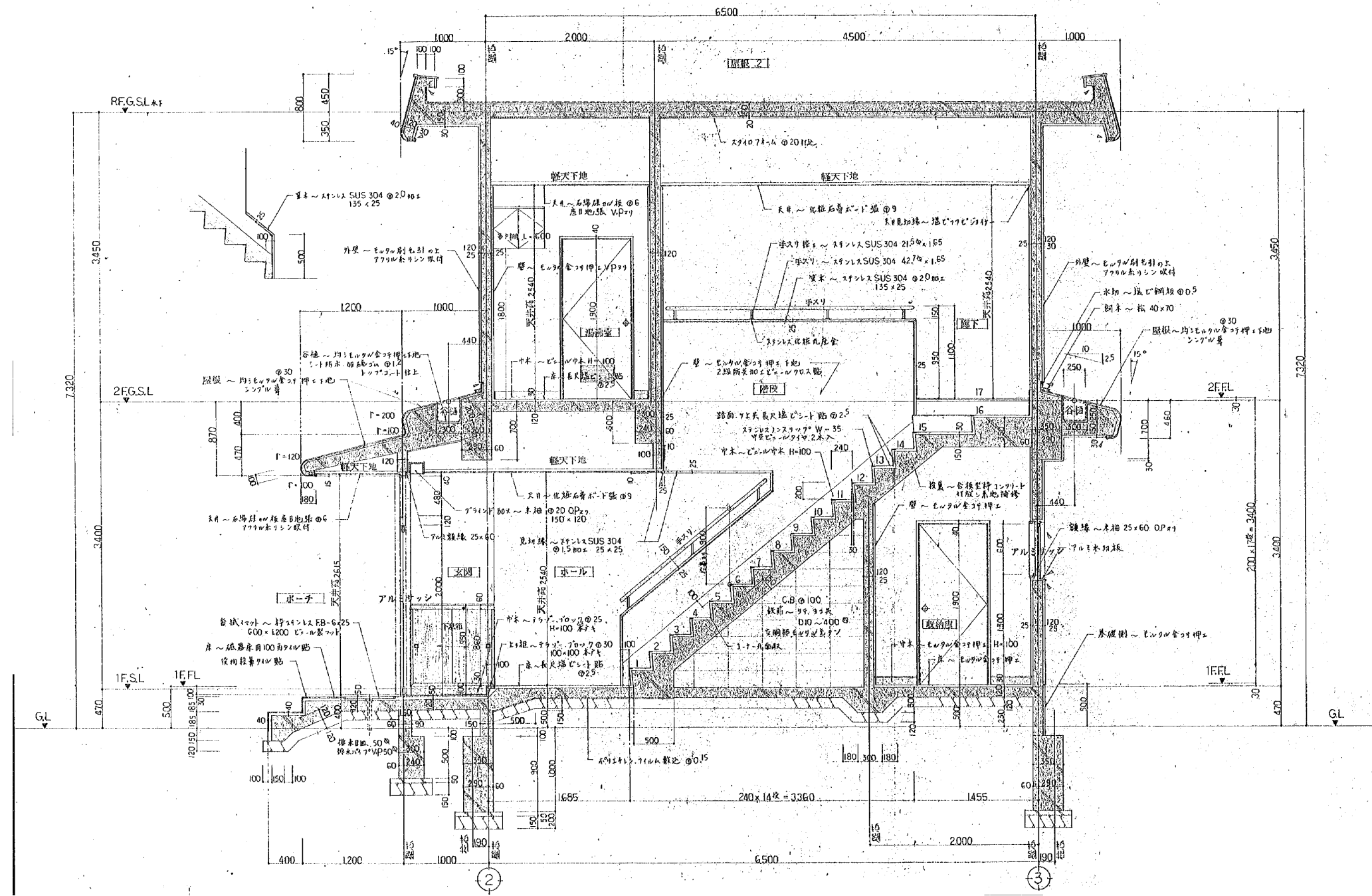


1階平面詳細図 S=1:100

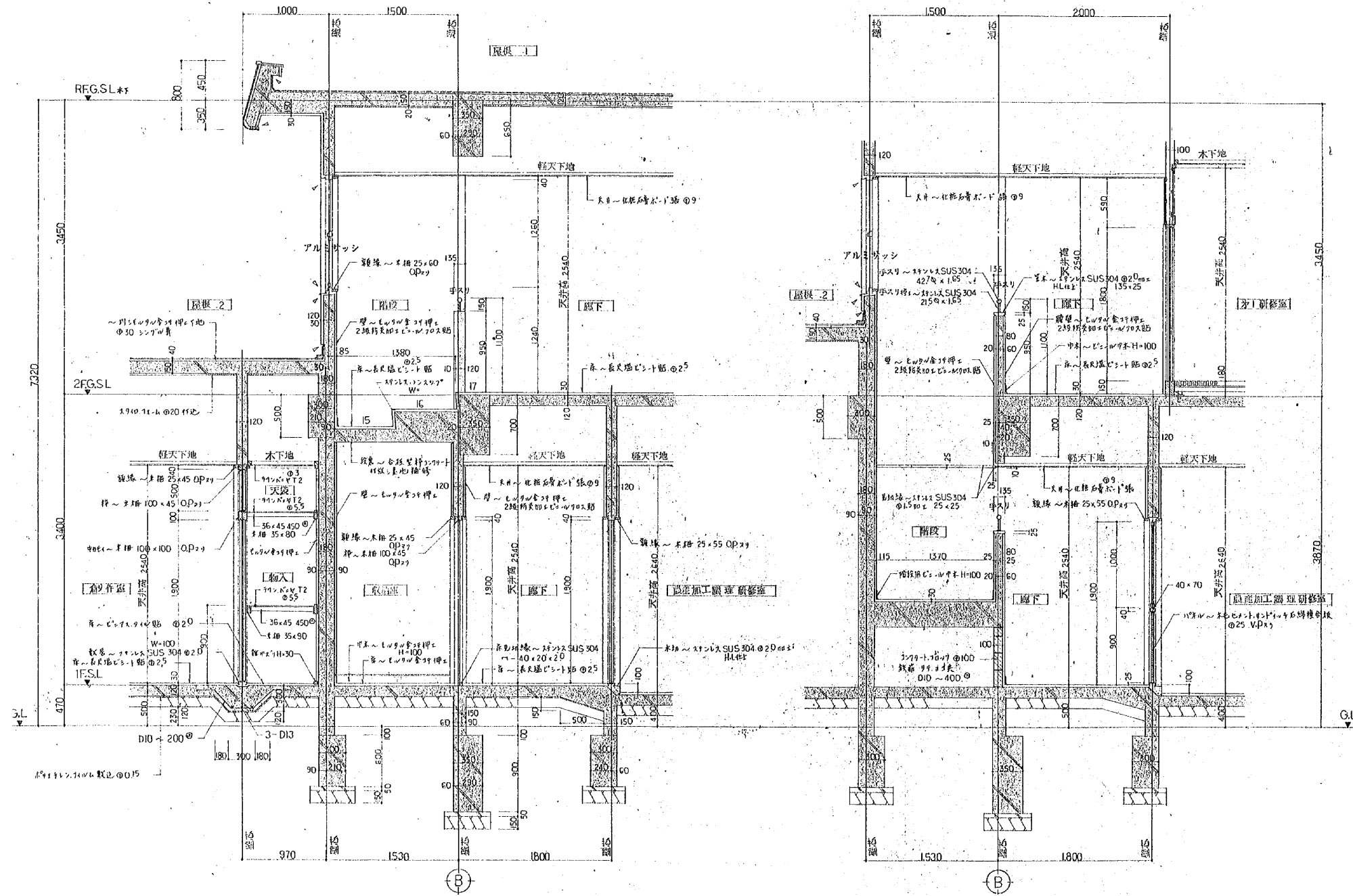


2階平面詳細図 S=1:100

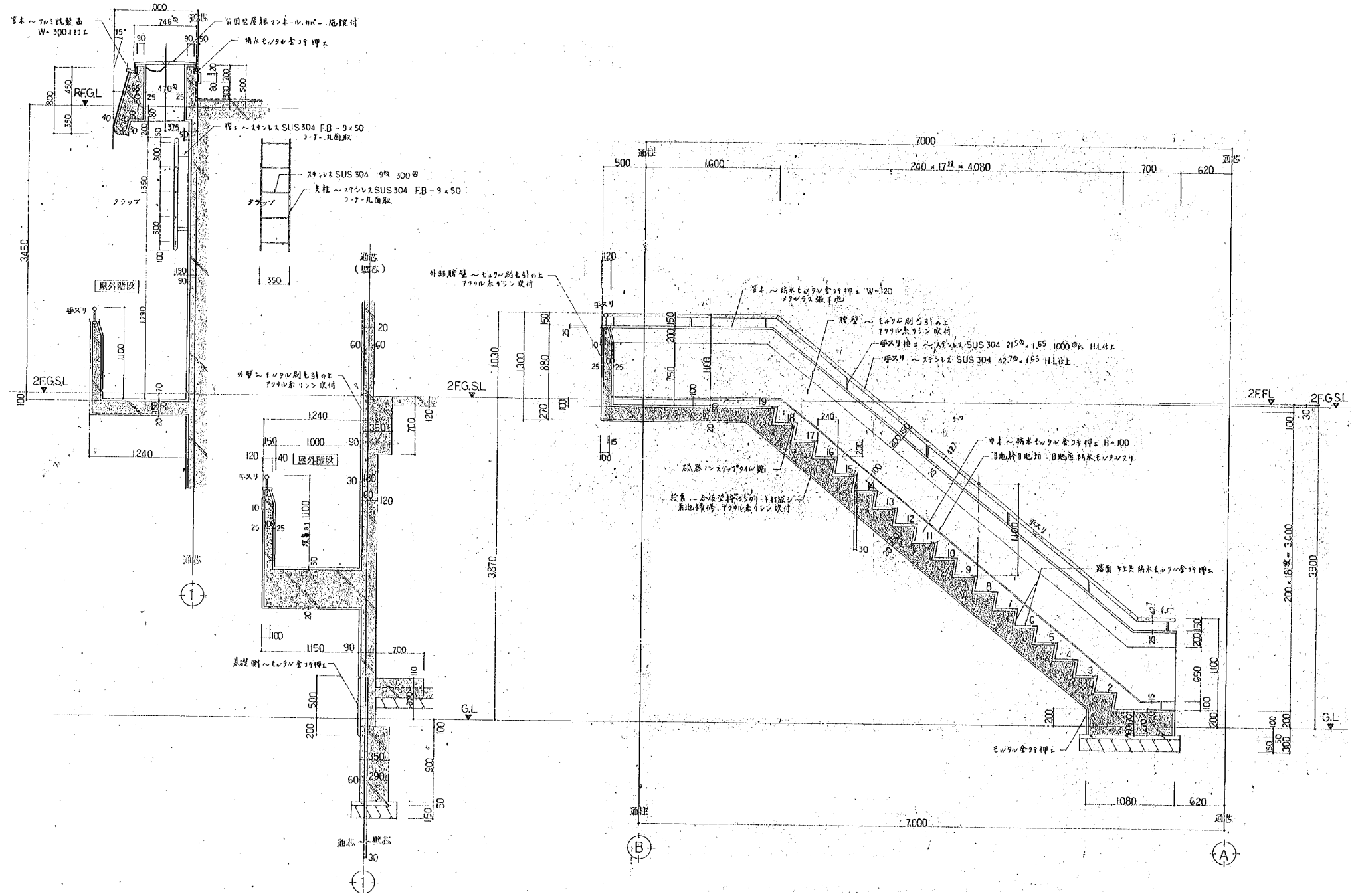
 <p>工事名称 旧福山市農村女性の家解体工事 図面名称 2階平面詳細図</p>	<p>縮尺 S=1/100</p>	<p>福山市建設局建築部営繕課 2023年 9月</p>	<p>図面No 10/33</p>
---	-------------------	----------------------------------	-----------------------



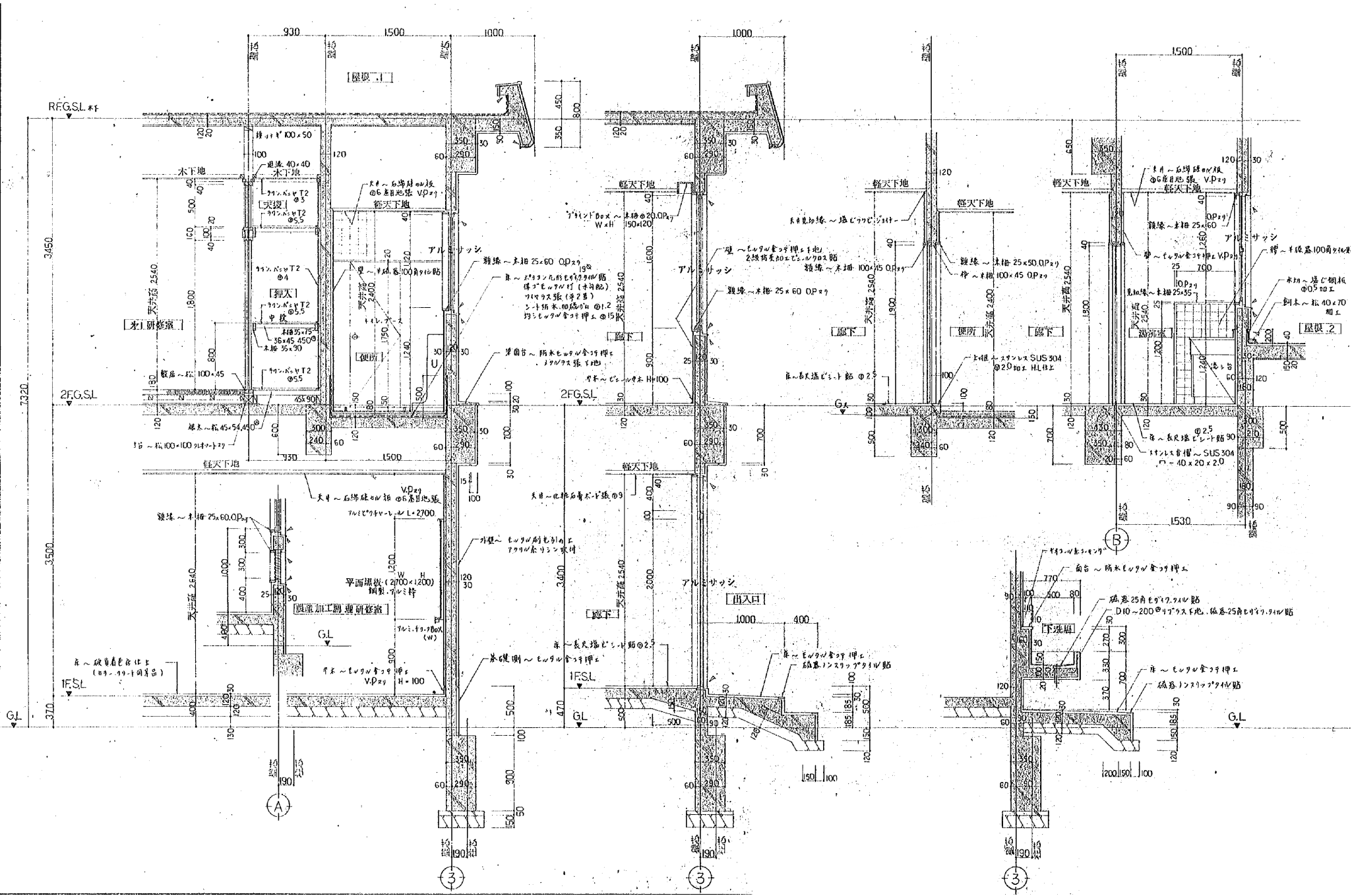
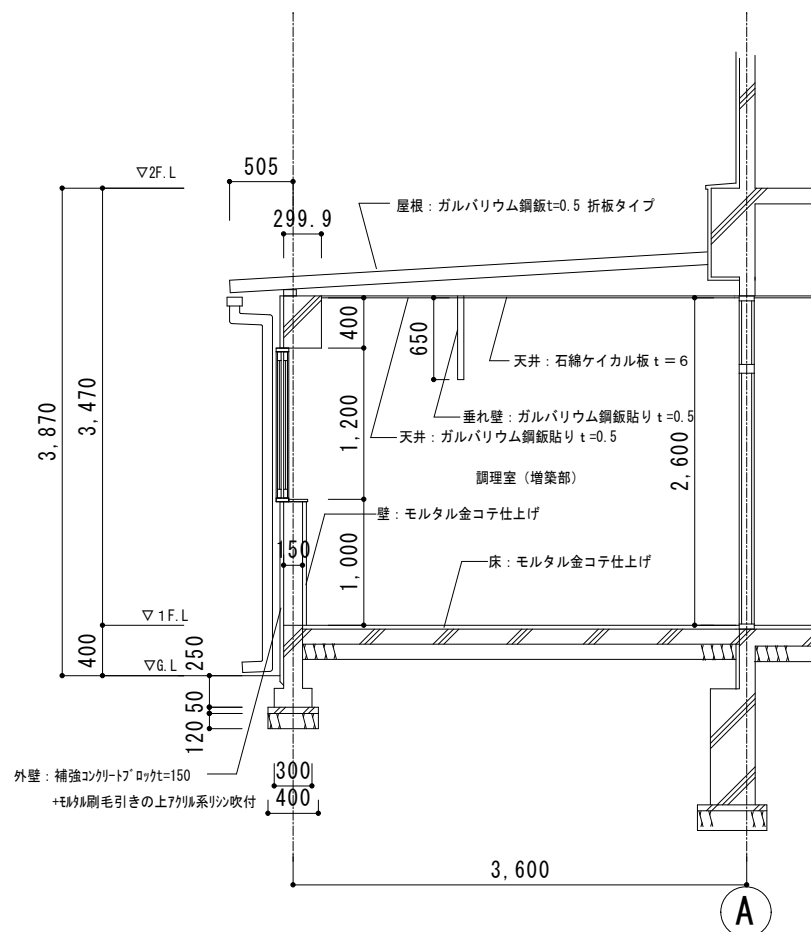
断面詳細図③ S=1:60



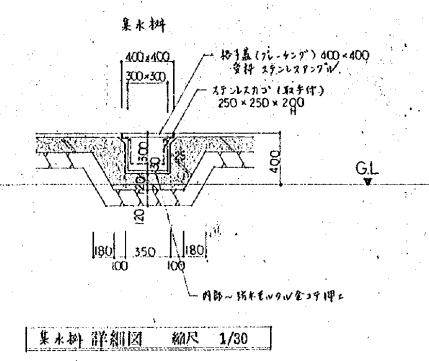
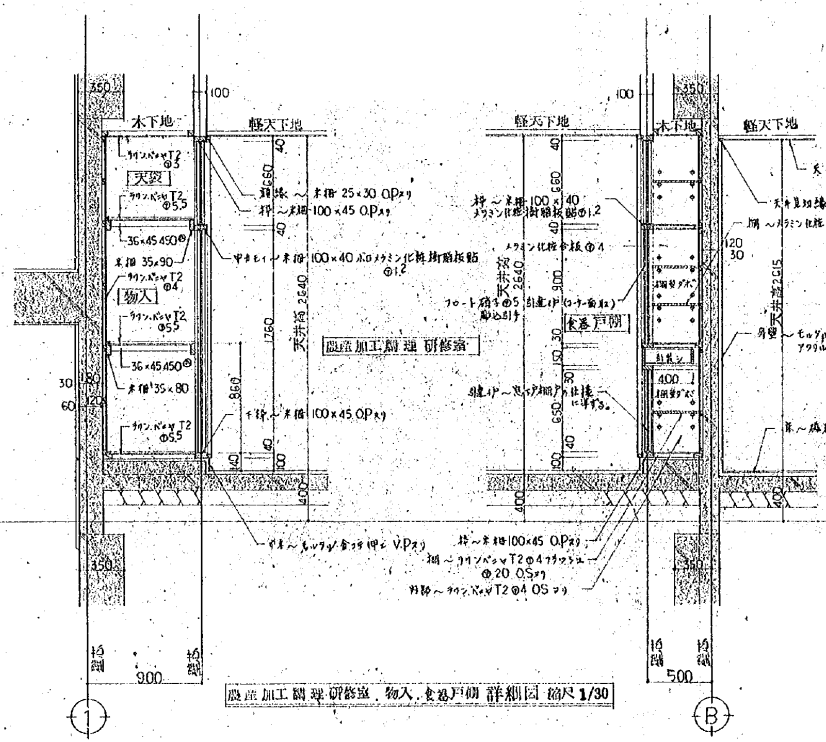
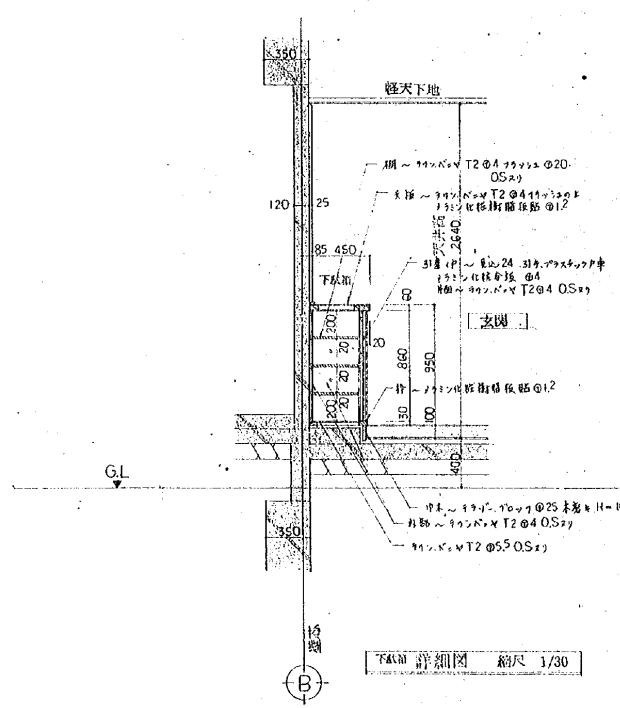
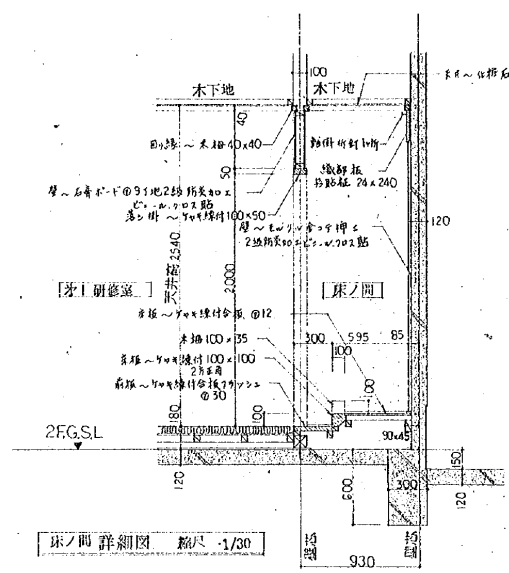
断面詳細図④ S=1:60



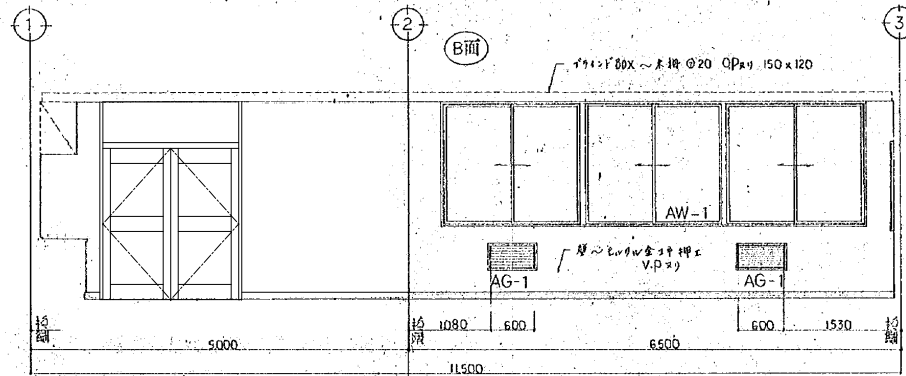
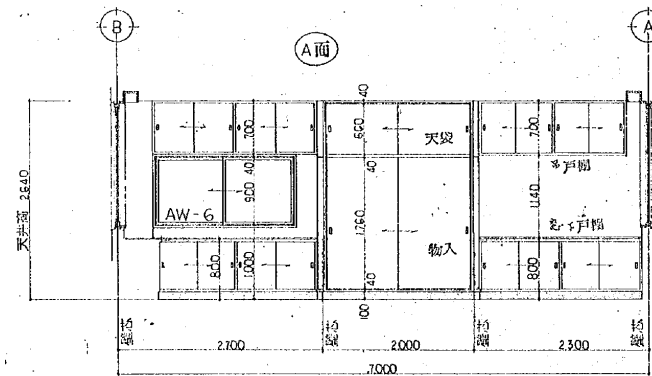
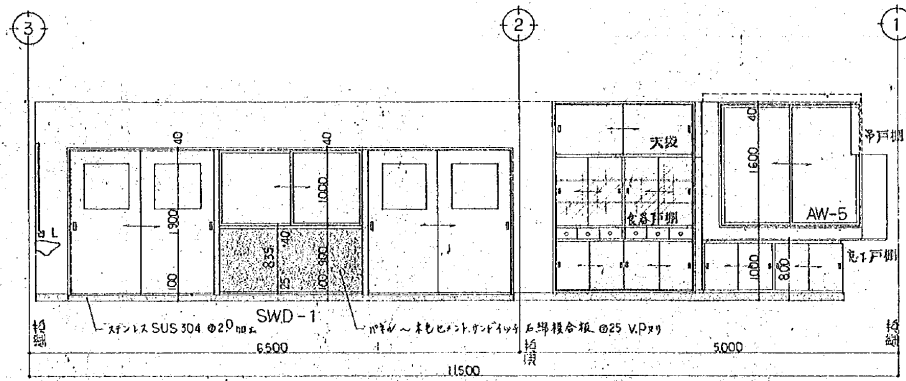
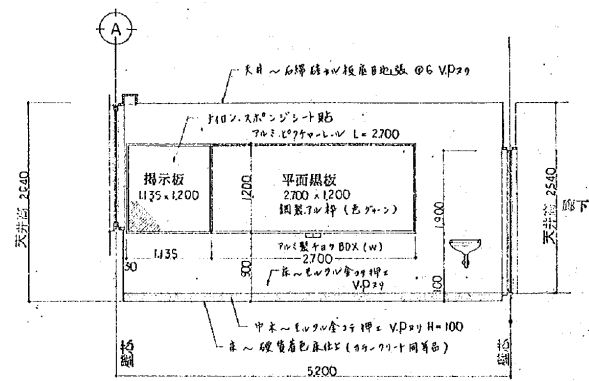
断面詳細図⑤ S=1:60



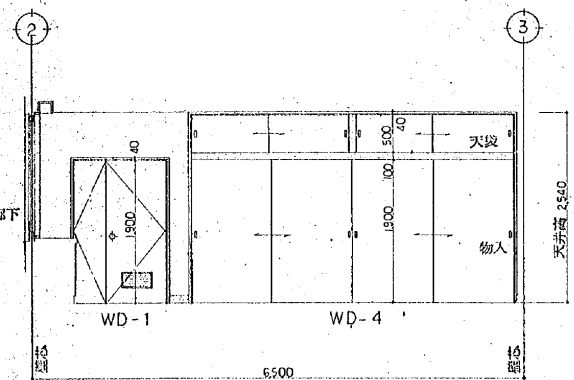
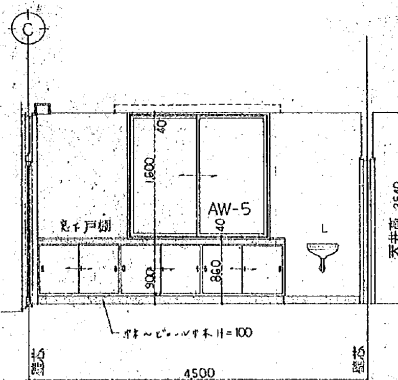
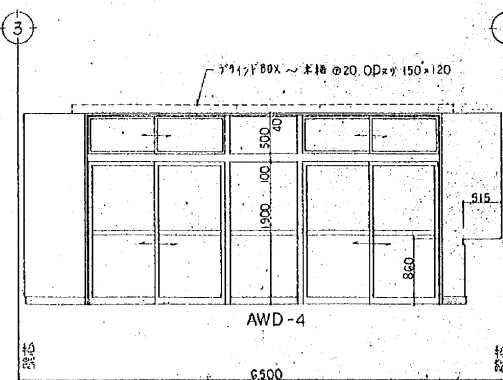
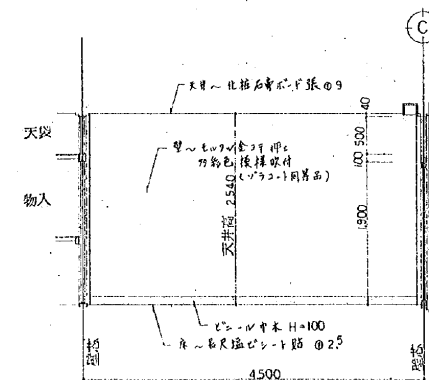
断面詳細図⑥ S=1:60



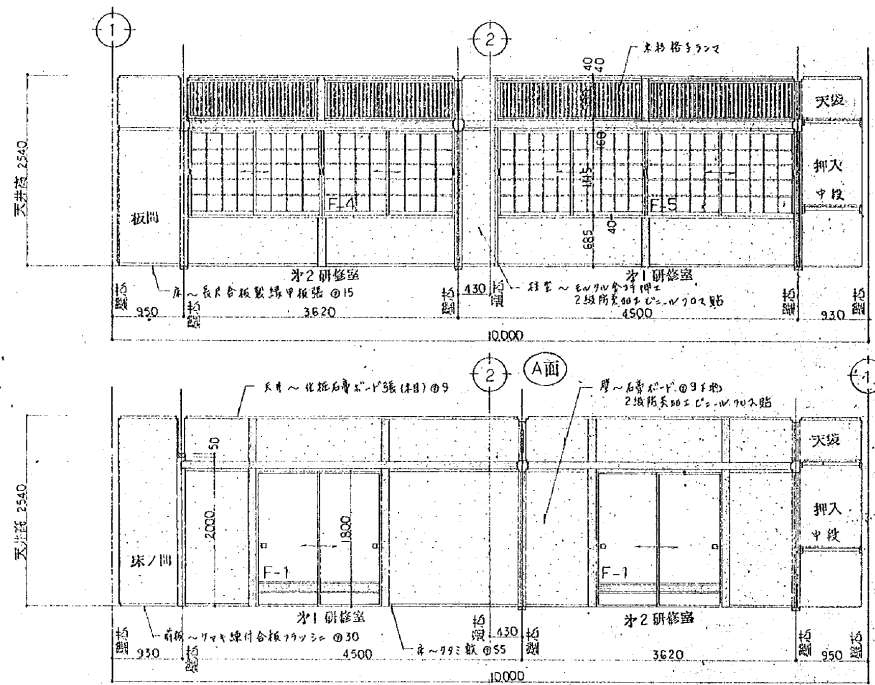
断面詳細図⑦ S=1:60



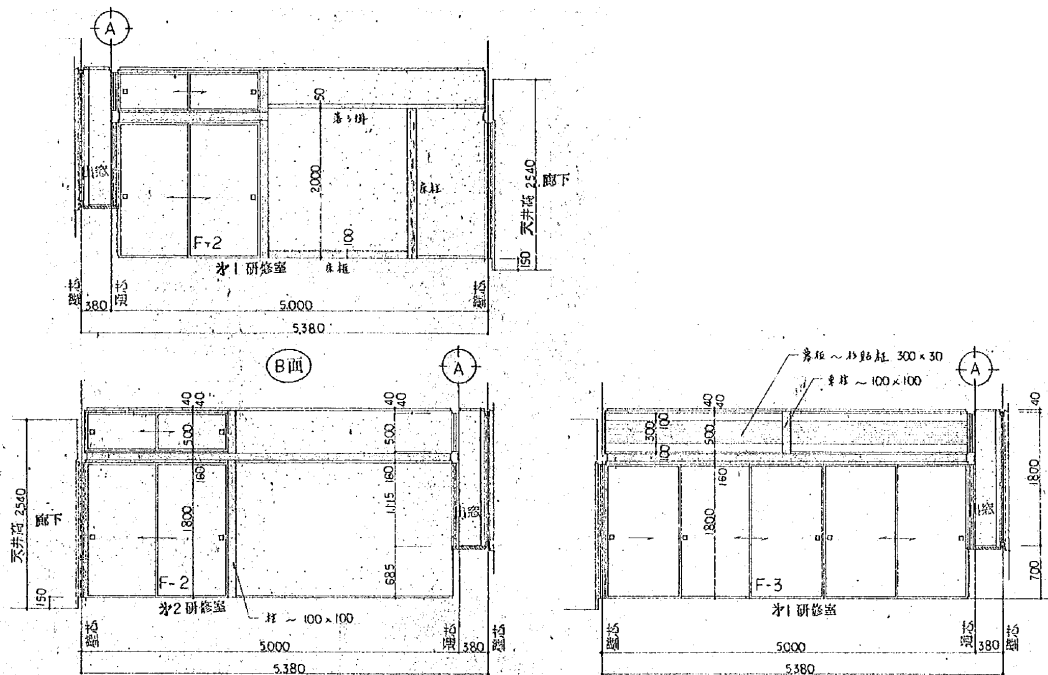
農産加工調理室 展開図 S=1:100



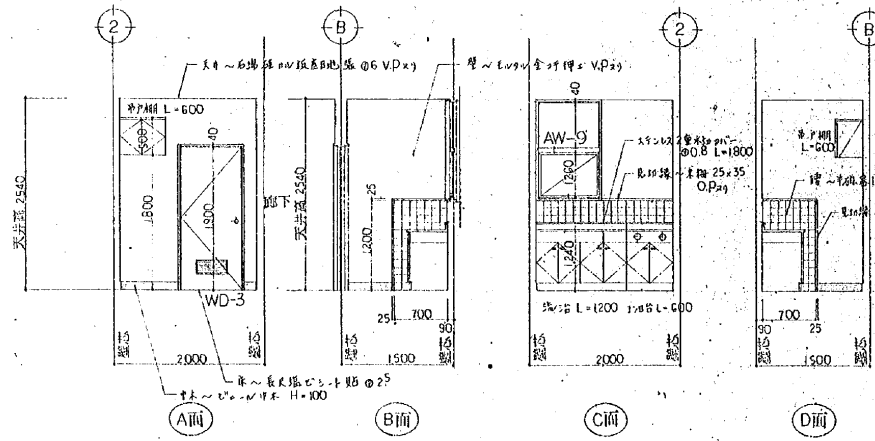
創作室 展開図 S=1:100



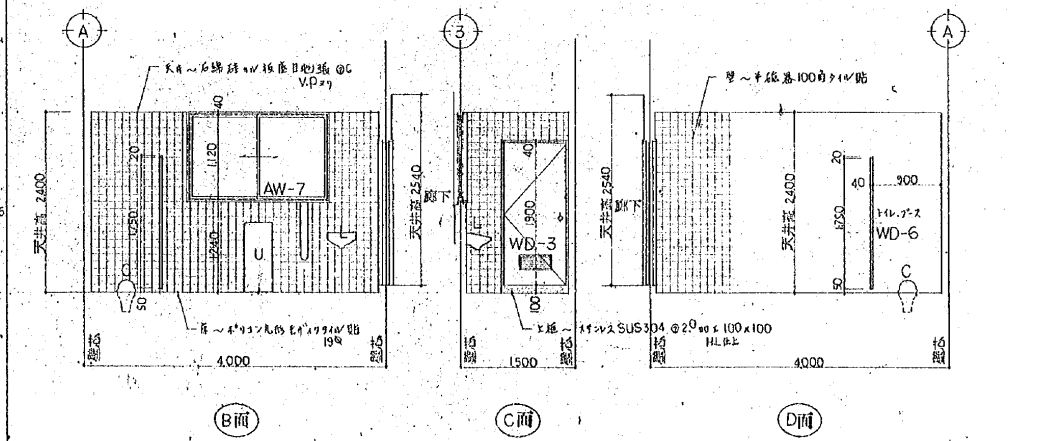
第1・第2研修室 展開図 S=1:100



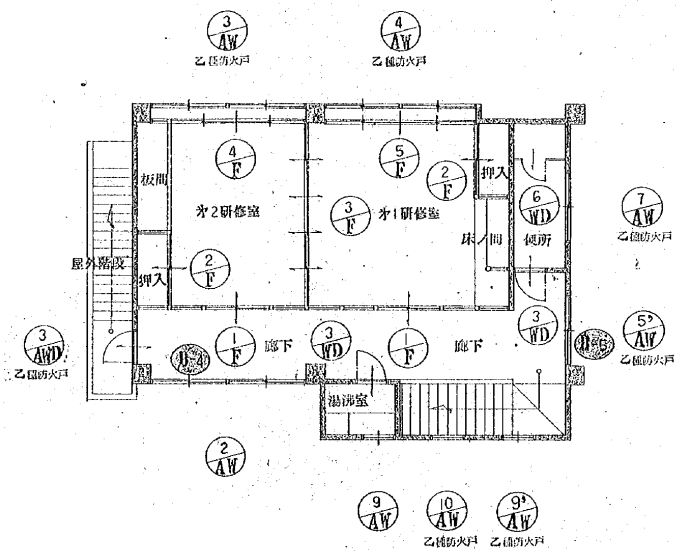
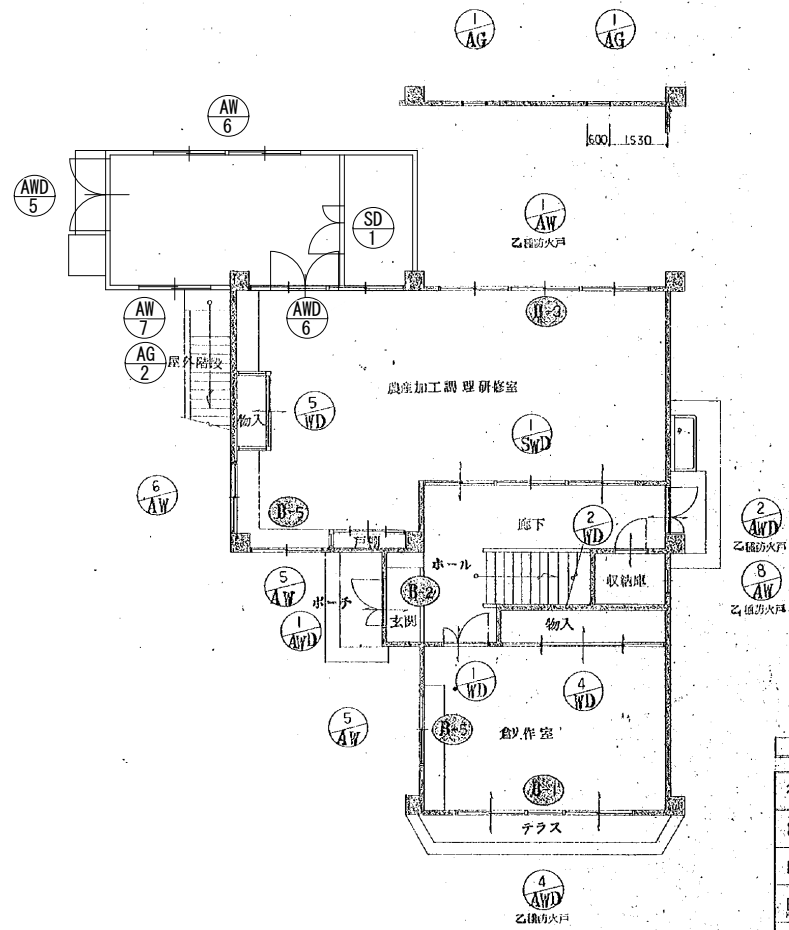
第1研修室 展開図 S=1:100



湯沸室 展開図 S=1:100



便所 展開図 S=1:100



「サイン」リスト

符号	種類	W x H	ヶ所
B-1	ポスター・サイン	4720 x 2640	1
B-2	ポスター・サイン	1200 x 2740	1
B-3	ポスター・サイン	5620 x 1750	1
B-4	ポスター・サイン	4070 x 1750	1
B-S	ポスター・サイン	1880 x 1750	3

(特記事項)

1. ポスター・サイン ~ 700mm幅サイン W=100
2. ポスター・サイン ~ 700mm幅サイン W=35

建具リスト 1

図号	AWD-1	AWD-2 乙種防火戸	AWD-3 乙種防火戸	AWD-4 乙種防火戸	AW-1 乙種防火戸
名称	玄関	1階廊下	2階廊下	創作室	農産加工調理研修室
図面					
数量	1	1	1	1	1
見込	70	70	70	70	70
材質	アルミ親子両開ドア、最狭窓	アルミ親子両開ドア、最狭窓	アルミ片開ドア、最狭窓	アルミ引違硝子戸、引違硝子窓、最狭窓	アルミ引違硝子窓
硝子	線状網入層々板硝子φ68 7mm透明硝子φ5	網入空板硝子φ68	網入空板硝子φ68	線状網入層々板硝子φ68 無色7mmクリア仕上	線状網入層々板硝子φ68 無色7mmクリア仕上
塗装	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上
金物	70T-ロング、ロング木脚錠、70Tボルト ステンレスハンドル-L-550、 70mm木脚錠、25×60、附属金物1式	ドラフトロック(スリッパレス)、調整調整器 70Tボルト、ステンレス、ロングロック錠 3番、附属金物1式	ドラフトロック(スリッパレス)、70Tボルト ロングロック錠、3番、附属金物1式	クレビス、7mm木脚錠、70Tボルト 附属金物1式	クレビス、7mm木脚錠、70Tボルト 附属金物1式

図号	AW-2	AW-3 乙種防火戸	AW-4 乙種防火戸	AW-5, AW-5' (乙種防火戸)	AG-1
名称	2階廊下	才2研修室	才1研修室	農産加工調理研修室、創作室、2階廊下	農産加工調理研修室
図面					
数量	1	1	1	AW-5 2ヶ所, AW-5' 1ヶ所	2
見込	70	70	70	70	70
材質	アルミ引違硝子窓	アルミ引違硝子窓	アルミ引違硝子窓	アルミ引違硝子窓	可動式7mmガラリ
硝子	層々板硝子φ5	線状網入層々板硝子φ68	線状網入層々板硝子φ68	AW-5 ~ 層々板硝子φ5 AW-5' ~ 線状網入層々板硝子φ68	
塗装	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上	無色7mmクリア仕上
金物	クレビス、7mm木脚錠、70Tボルト 附属金物1式	全左	全左	全左	7mm木脚錠、70Tボルト 内部ステンレス網付

(特記事項) 1. 7mm製建具 ~ 強度 240kg/m²、質量 8kg/m²、水圧 35kg/m² 新JIS適合品
 2. 網入り硝子のクレビス高さはFL+1500mmとする。
 3. 網入り硝子の硝子厚さは防火用が厚く多量。その他の硝子はC、D厚とする。

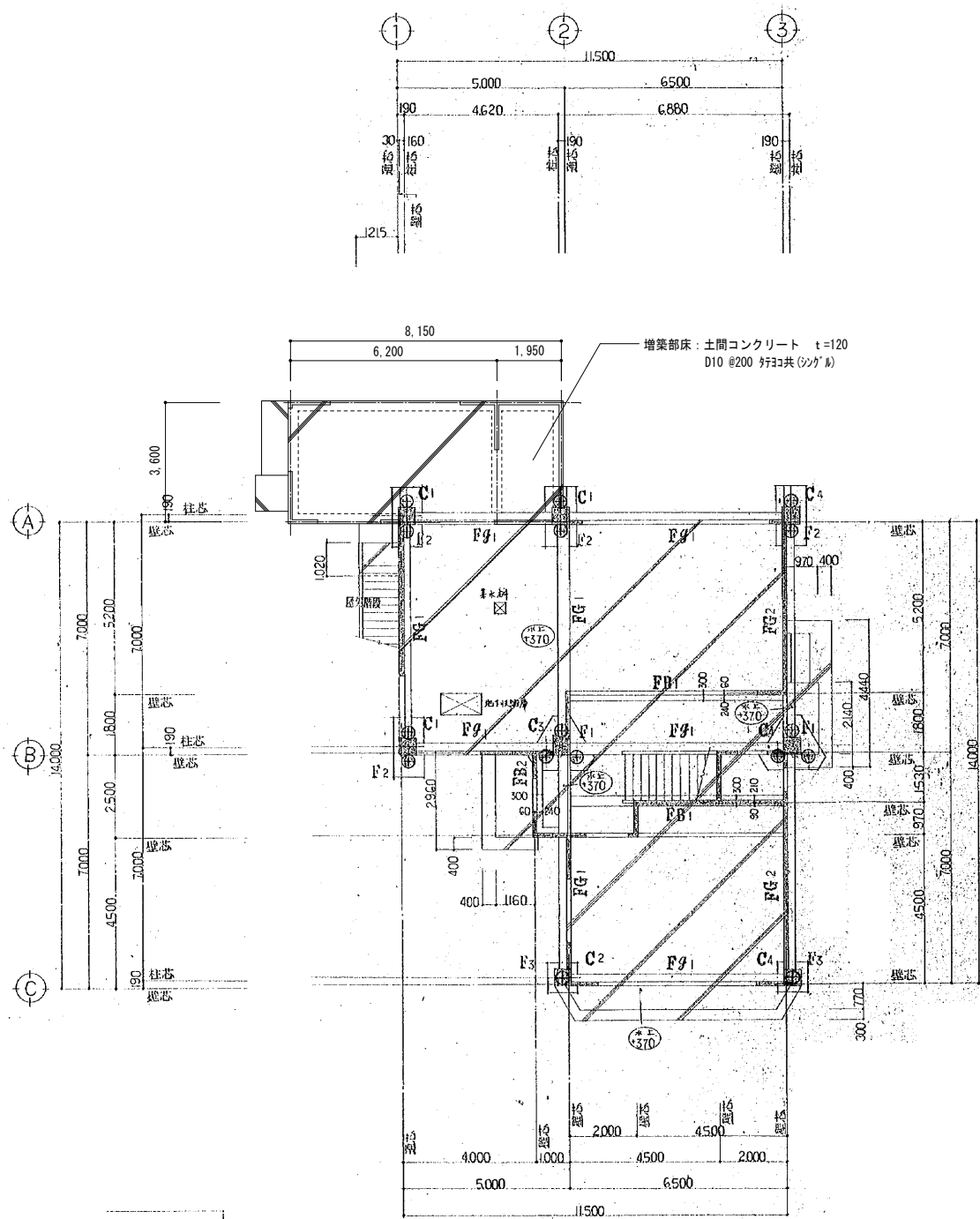
建具リスト2

記号	AW-6	AW-7	AW-8	AW-9, AW-9'	AW-10	SWD-1
室名	農産加工調理研修室	便所	収容庫	湯沸室、階段	階段	農産加工調理研修室
数量	1	1	1	AW-9: 1ヶ所、AW-9': 1ヶ所	1	1
見込	70	70	70	70	70	枠~80、ドア~40
材質	アルミ引違い窓	アルミ引違い窓	アルミ引違い窓	アルミ引違い窓、最狭2枚窓	アルミ最狭2枚窓	ステンレス製軽量開閉窓、化粧鋼板φ08
硝子	単板硝子φ4	網入型板硝子φ6.8	網入型板硝子φ6.8	AW-9: 単板硝子φ4 AW-9': 網入型板硝子φ6.8	網入型板硝子φ6.8	単板硝子φ4
塗装	無色アクリル付上	無色アクリル付上	無色アクリル付上	無色アクリル付上	無色アクリル付上	枠~F.P.7
金物	クレセント、アルミ地盤、フックボルト、附属金物1式	全左	アルミ地盤、フックボルト、附属金物1式	アルミ地盤、フックボルト、附属金物1式	フックボルト、アルミ地盤、附属金物1式	片居引子、シンナー錠錠、クレセント、フックボルト(内曲)、附属金物1式

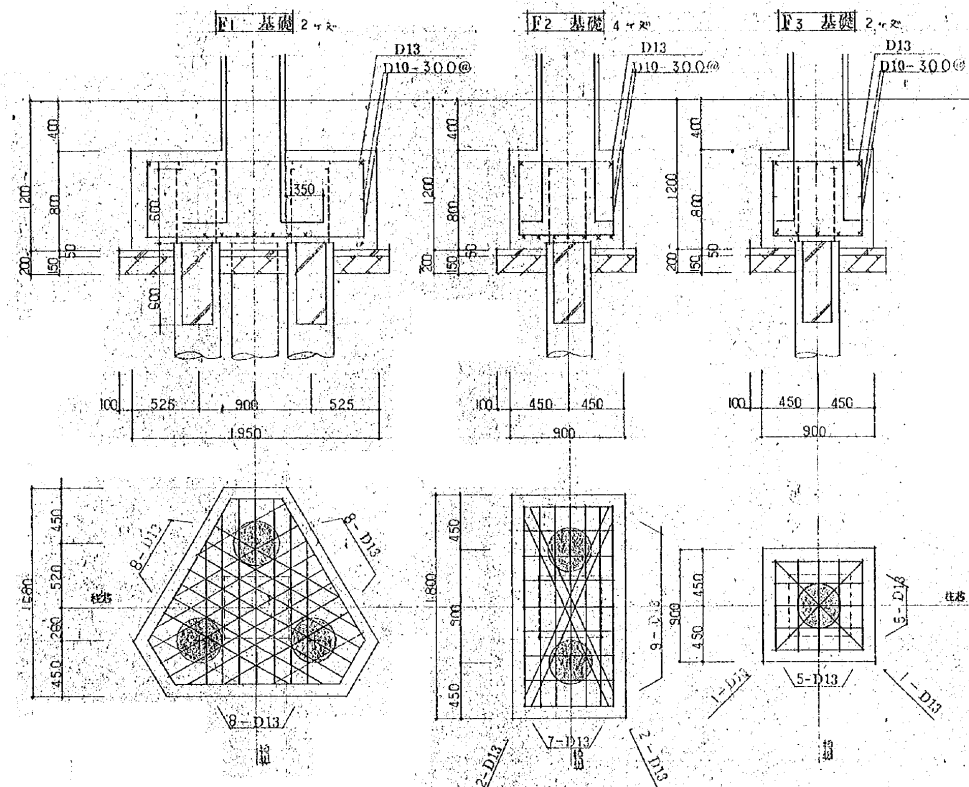
記号	WD-1	WD-2	WD-3	WD-4	WD-5	WD-6
室名	収容庫	収容庫	湯沸室、便所	収容庫の物入	農産加工調理研修室の物入	便所
数量	1	1	2	1	1	1
見込	36	36	36	36	30	40
材質	ステンレス化粧板φ4、ガラス引違い1戸	ステンレス化粧板φ4、ガラス引違い1戸	ステンレス化粧板φ4、ガラス引違い1戸	最狭~ステンレス化粧板φ4、最狭~ガラス引違いφ4、ガラス引違い1戸	最狭~ステンレス化粧板φ4、ガラス引違い1戸 最狭~ガラス引違いφ4	ステンレス化粧板φ4、ガラス引違いφ4
硝子						
塗装				ガラス~OS29	ガラス~OS29	
金物	ステンレスボルト、ステンレスナット、附属金物1式	ステンレスボルト、ステンレスナット、附属金物1式	ステンレスボルト、ステンレスナット、附属金物1式	片居引子、ステンレス最狭、附属金物1式 片居引子、片居引子、量鋼製甲凡レール	片居引子、量鋼製甲凡レール、附属金物1式	ステンレスボルト、ステンレスナット(内曲)、表示錠、ステンレスボルト、ステンレスナット、附属金物1式

増築部 建具表

記号	AWD-5	AWD-6	AW-6	AW-7	AG-2	SD-1
室名	調理室(増築部)					
数量	1	1	1	1	1	1
見込	70	70	70	70	70	70
材質	アルミ両開き戸	アルミ両開き戸	アルミ引違い窓	アルミ引違い窓	アルミガラス	スチール両開き戸
ガラス		70-トガラス t=5	70-トガラス t=5	70-トガラス t=5		
塗装						SOP
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式



基礎伏図 S=1:200



基礎詳細図 S=1:60

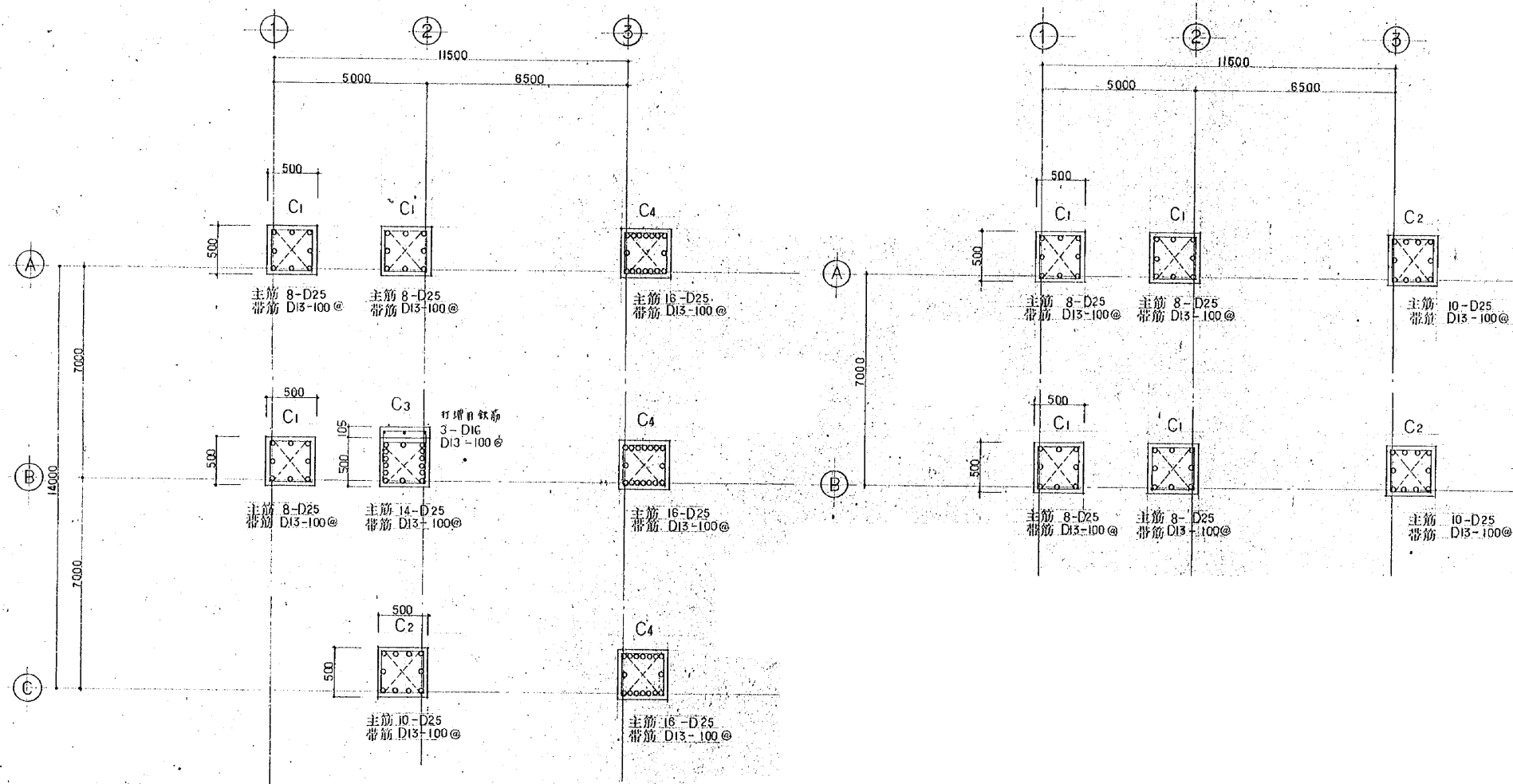
構造概要	
コンクリート	基礎・基礎梁 配筋 4FC≧210
土間	4FC≧180
地盤	4FC≧135
鉄筋	SD30

- 特記事項
- ・GL=±0とする。
 - ・納配筋 IF CON 及び GL+470とする。
 - ・基礎梁配筋は各々 GL-100とする。
 - ・納配筋は各々 W12とする。
 - ・IF 床は全床ドマロンキャストとする。
 - ・配筋は、各々 D10-200mm ランプとする。

杭仕様

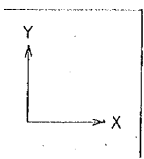
杭：PCパイル φ350
 工法：壁式オーガー併用打込杭（オーガー長さ 9m）
 杭長：10m × 16本

※杭穴の埋戻し：流動状処理土



1階柱リスト S=1:60

2階柱リスト S=1:60

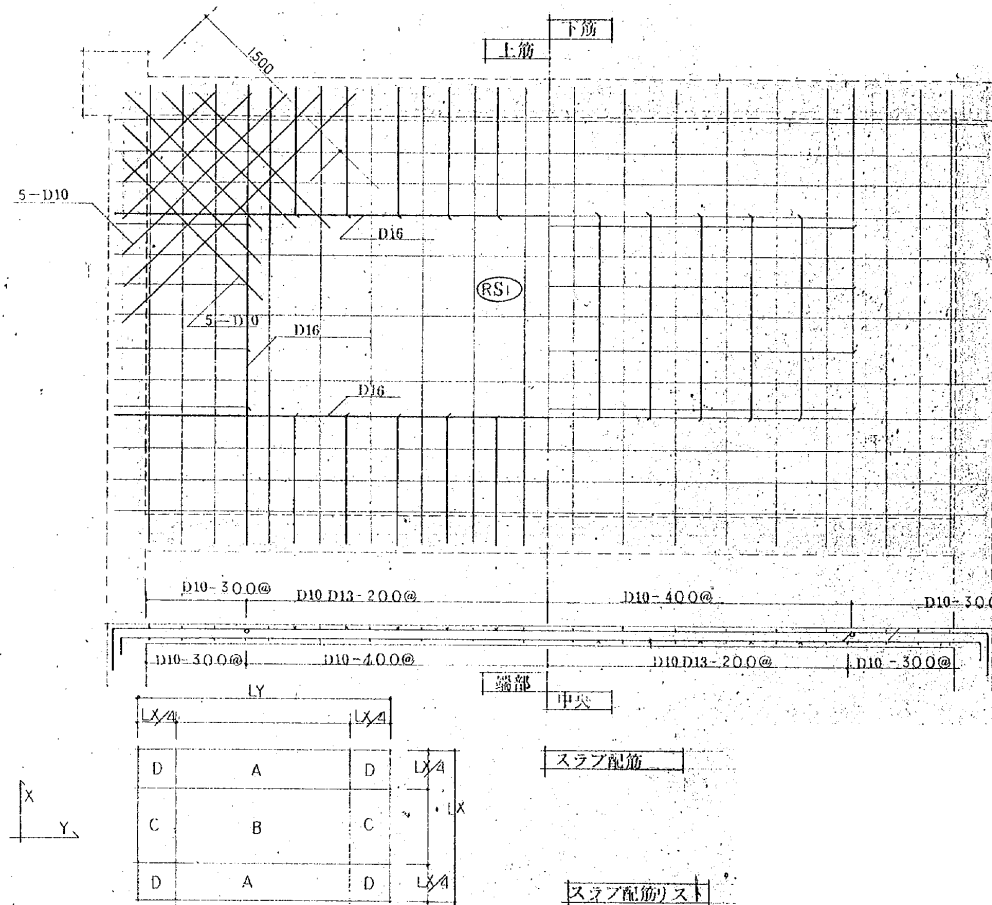


特記事項
 副筋は全径D10-400@とする

梁 配筋リスト																
符号	R ϕ 1, R ϕ 1	R ϕ 2			R ϕ 2		R ϕ 3		R ϕ 1		2 ϕ 3		2 ϕ 4			
位置	全断面	2 端	中央	3 端	端部	中央	端部	中央	1,3端, 中央	2 端	端部	中央	B 端	中央	A 端	
配筋																
断面	350 x 650	350 x 650			350 x 650		350 x 650		300 x 500		350 x 700		350 x 700			
上筋	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D19	4 - D19	4 - D22	3 - D22	6 - D22	3 - D22	5 - D22	
下筋	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D19	3 - D19	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	
助筋	D10 - 200@	D10 - 200@			D10 - 200@		D10 - 200@		D10 - 200@		D10 - 150@		D10 - 200@			
腹筋	2 - D13	2 - D13			2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13			
符号	2 ϕ 1		2 ϕ 2, 2 ϕ 5					2 ϕ 4		2 ϕ 5, 2 ϕ 1		2 ϕ 2		2 ϕ 3		
位置	1 端	中央	2 端	2, C 端	中央	3, B 端	端部	中央	全断面	C 端	中央	B 端	B 端	中央	A 端	
配筋																
断面	350 x 700		350 x 700					350 x 700		350 x 700		350 x 700		350 x 700		
上筋	4 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	6 - D22	5 - D22	3 - D22	3 - D22	6 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	6 - D22	
下筋	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	5 - D22	
助筋	D10 - 200@		D10 - 125@					D10 - 200@		D10 - 200@		D10 - 200@		D10 - 150@		
腹筋	2 - D13		2 - D13					2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13		
符号	F ϕ 1, F ϕ 1	F ϕ 2		F ϕ 1	F ϕ 2	2 ϕ 1		2 ϕ 2		2 ϕ 3		2 ϕ 4, 2 ϕ 5				
位置	全断面	端部	中央	全断面	全断面	1 端, 中央	2 端	2 端	中央, 3 端	端部	中央	全断面				
配筋																
断面	350 x 900	350 x 900		300 x 600	300 x 500	300 x 500		300 x 500		300 x 600		300 x 500				
上筋	4 - D22	5 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D19	3 - D19	4 - D19	3 - D19	4 - D19	3 - D19	3 - D22	6 - D22	3 - D19			
下筋	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D19	3 - D19	3 - D19	3 - D19	3 - D19	3 - D22	6 - D22	3 - D19				
助筋	D10 - 200@	D10 - 200@		D10 - 200@	D10 - 200@	D10 - 200@		D10 - 200@		D10 - 200@		D10 - 200@				
腹筋	4 - D13	4 - D13		2 - D13	2 - D13											

特記事項
 1 中止筋は全て D10 - 600@ とする。

増築部RC梁	
断面	300 x 400
主筋 (上端)	3 - D19
主筋 (下端)	3 - D19
あばら筋	D10 @200

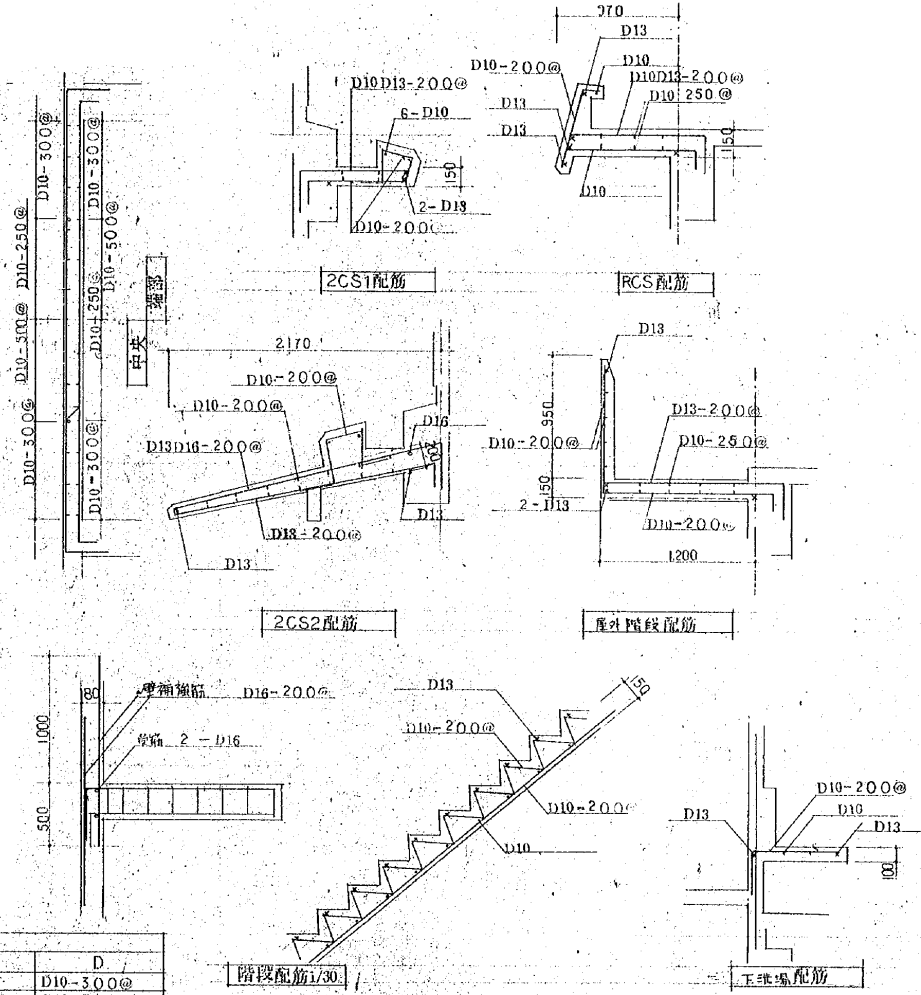


LY			
D	A	D	LYA
C	B	C	X
D	A	D	LYA

スラブ配筋

スラブ配筋リスト

符号	厚	位置	X方向筋				Y方向筋			
			A	H	C	D	A	B	C	D
RS1	120	上筋	D10D13-200@	D10-400@	D10-300@	D10-300@	D10-300@	D10-500@	D10-250	D10-300@
		下筋	D10-400@	D10D13-200@	D10-300@	D10-300@	D10-300@	D10-250	D10-500@	D10-300@
RS2	120		D10-200@				D10-200@			
2S3			D10-200@				D10-200@			
2S1	120	上筋	D10D13-200@	D10-400@	D10-300@	D10-300@	D10-300@	D10-250	D10-500@	D10-300@
		下筋	D10-400@	D10-200@	D10-300@	D10-300@	D10-300@	D10-250	D10-500@	D10-300@
2S2	150		D10D13-200@				D10D13-200@			

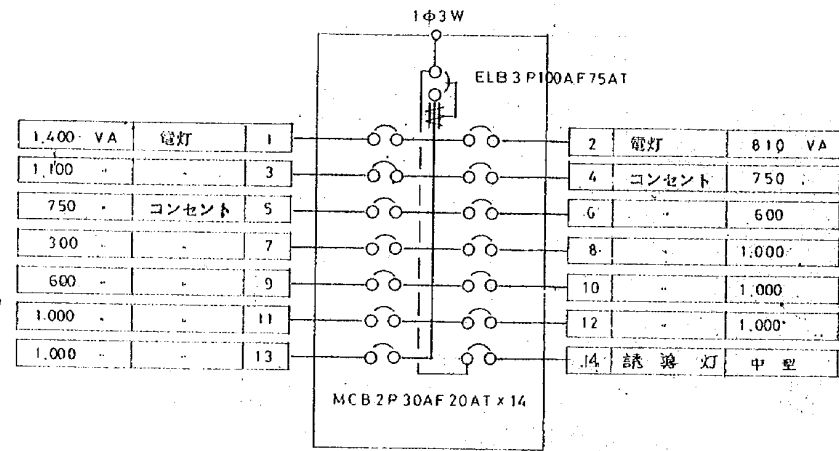


環筋リスト

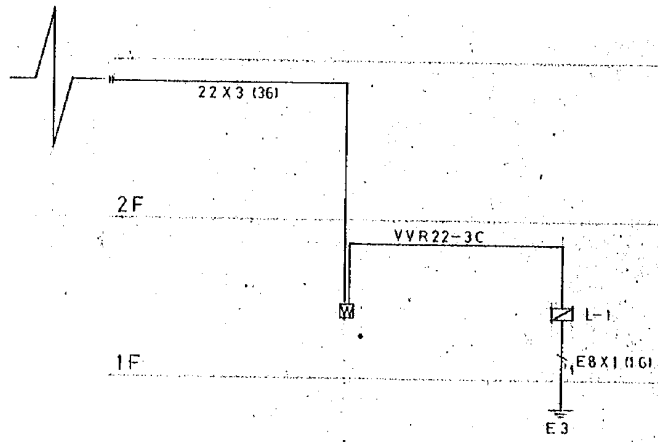
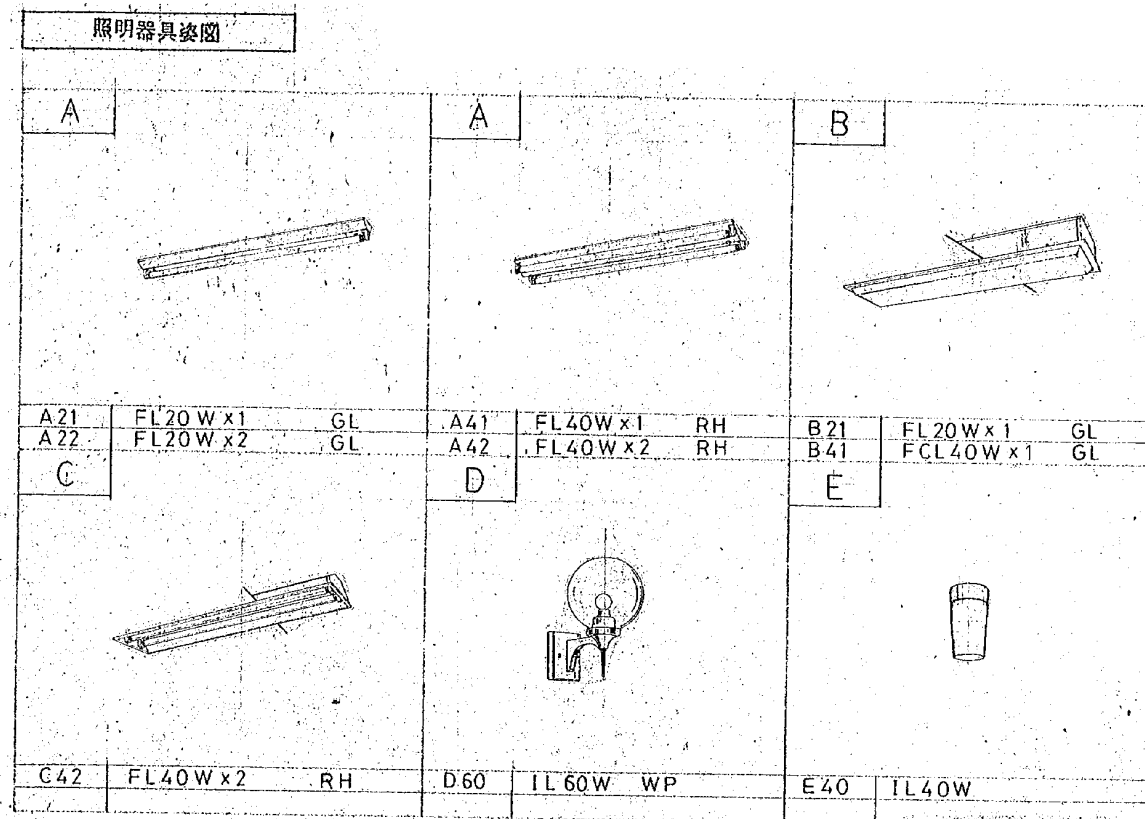
符号	厚	配筋	開口部補強筋
W18	180	7本筋 D10-200@	2-D13
W12	120	7本筋 D10-200@	1-D13
CB10	100	7本筋 D10-400@	

開口部
環筋
環筋間隔は、D10-1000とする。

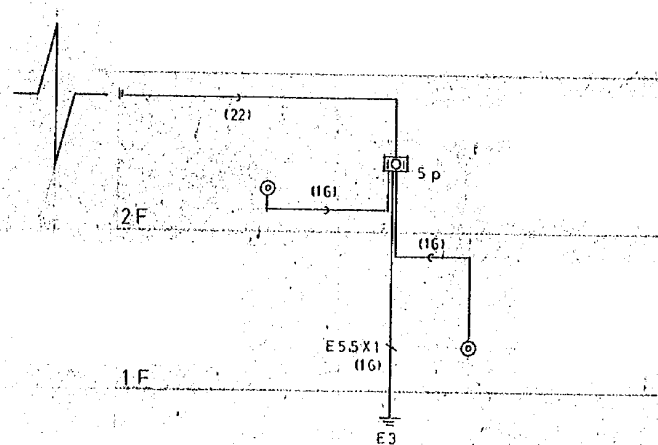




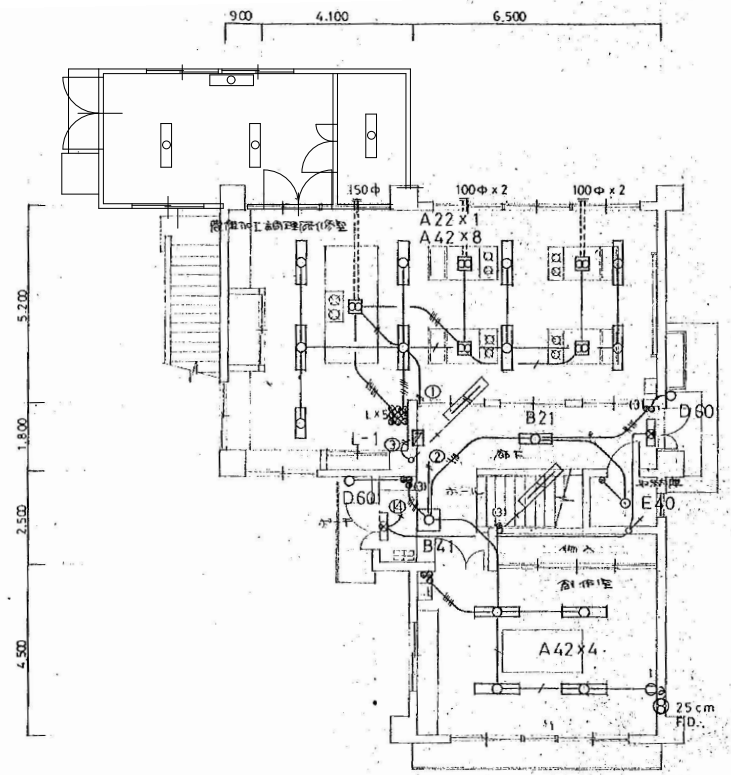
L-1 結線図
屋外照明系統



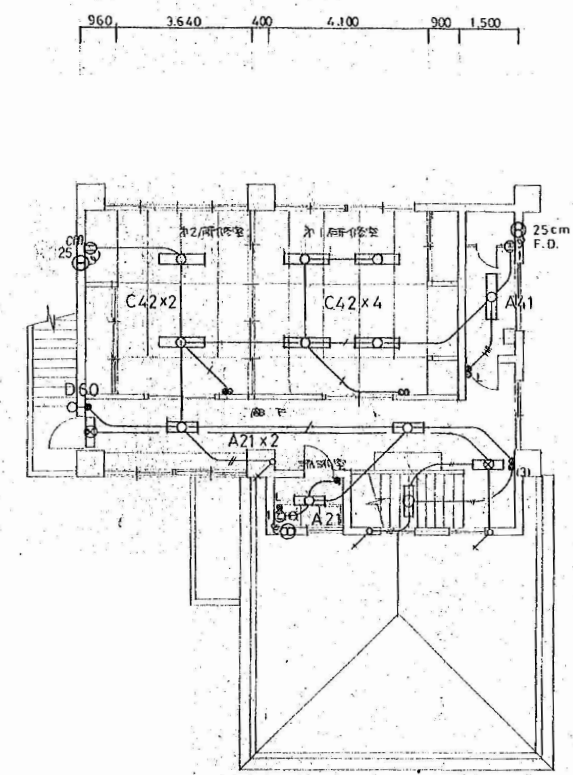
幹線 系統図



電話配管 系統図



1F 配線図

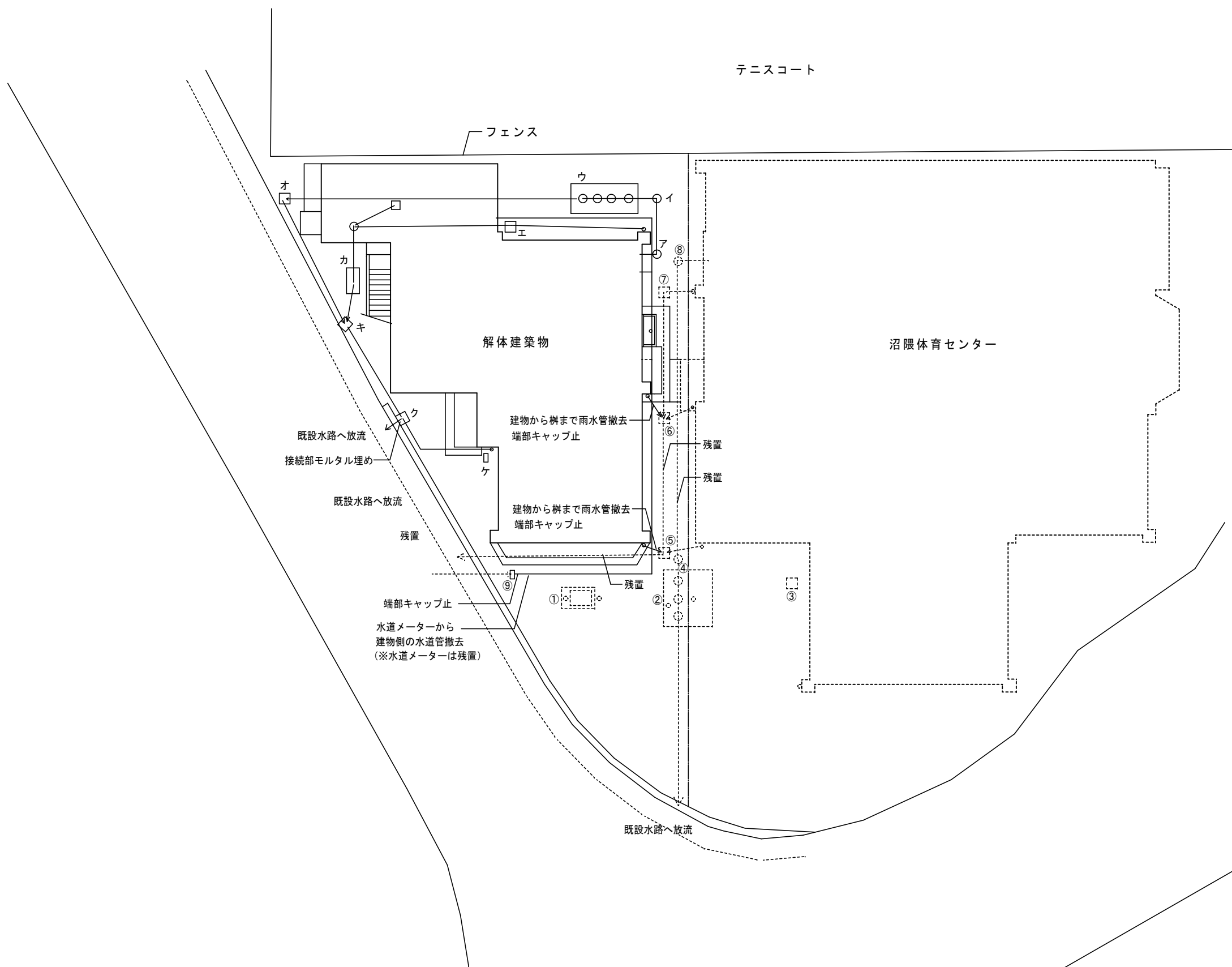


2F 配線図

図中記入なき配線記号は下記とする。

——	VVF1.6-2C
——	1.6-3C
——	1.6-2C x 2
——	1.6-2C + 1.6-3C
——	1.6-3C x 2
——	2.0-2C

二重天井内は、ケーブルこもりがし配線とする。
 立上り、立下り及び、コンクリート埋設部分は
 パイプ図様とする。



給水・排水設備 残置リスト

①	沼隈体育センター	水道メーター
②	沼隈体育センター	浄化槽
③	沼隈体育センター	雨水排水マス
④	沼隈体育センター	汚水マス
⑤	沼隈体育センター	雨水排水マス
⑥	沼隈体育センター	雨水排水マス
⑦	沼隈体育センター	雨水排水マス
⑧	沼隈体育センター	汚水マス
⑨	解体建築物	水道メーター

※残置設備に接続する沼隈体育センター側の配管設備等を撤去しないよう配慮すること

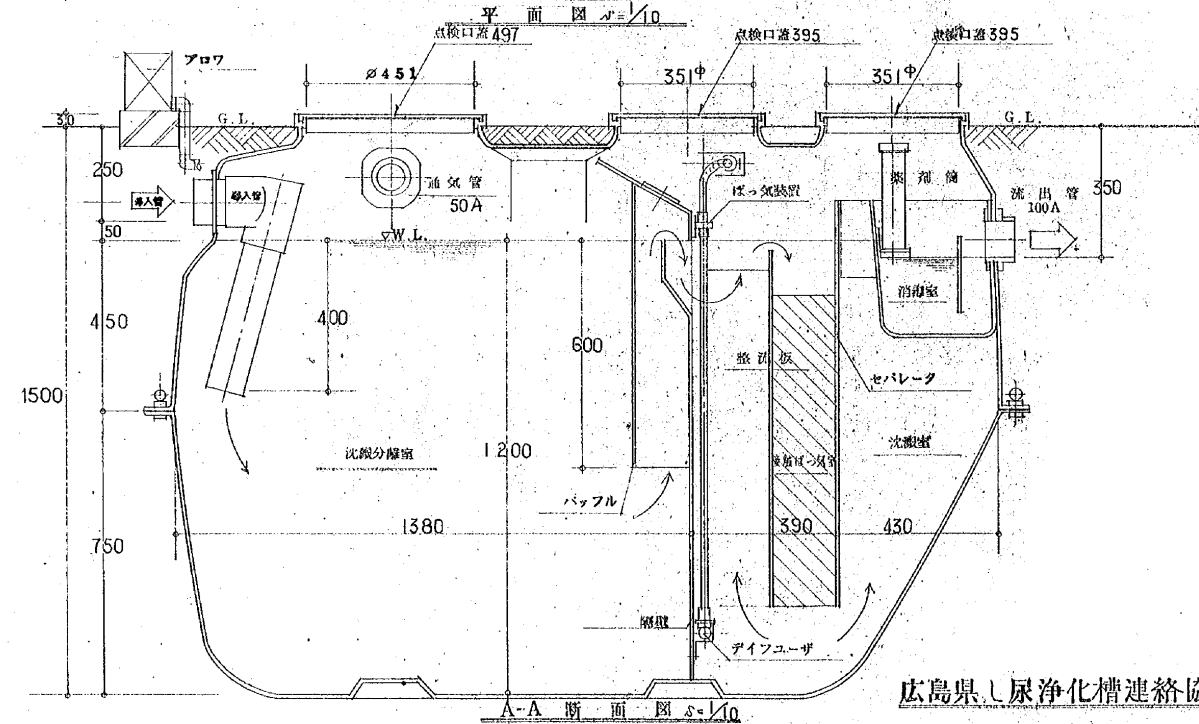
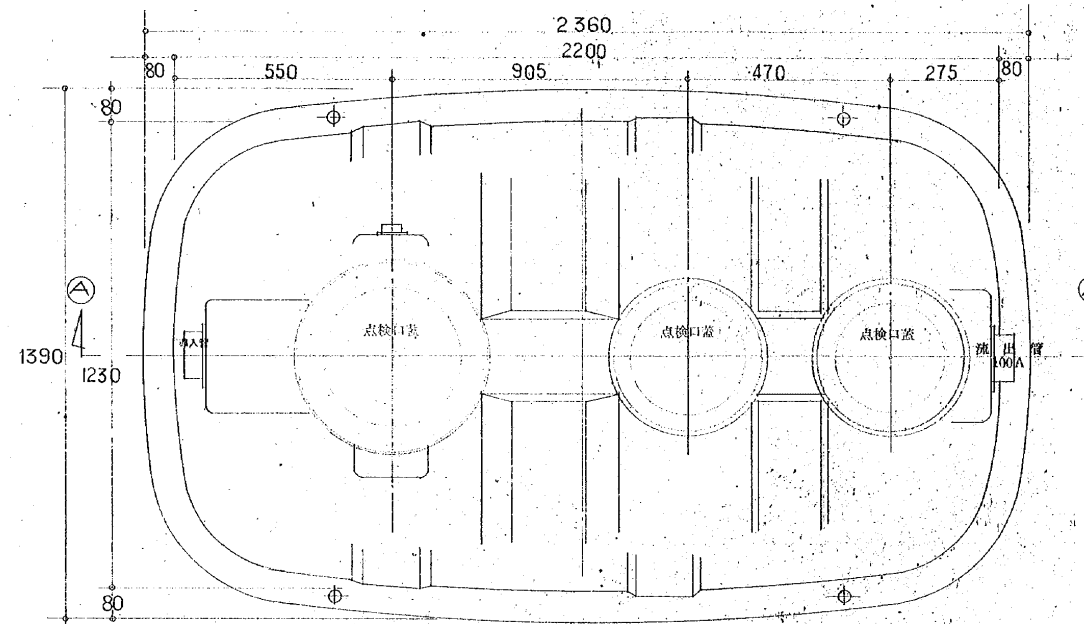
給水・排水設備 撤去リスト

ア	解体建築物	汚水マス
イ	解体建築物	汚水マス
ウ	解体建築物	浄化槽
エ	解体建築物	雨水排水マス
オ	解体建築物	雨水排水マス
カ	解体建築物	グリーストラップ
キ	解体建築物	雨水排水マス
ク	解体建築物	雨水排水マス
ケ	解体建築物	散水栓

※設備撤去後は真砂土埋戻し+転圧を行う

外構図 兼 給排水設備 プロット図 S=1:200

※建物撤去部分は、真砂土埋戻し後整地仕上げとする。
(既存外部仕上は真砂土)



分離接触ばっ気方式

ネオ浄化そう SB-16
(単独処理 分離接触ばっ気方式16人そう)

容量表 (ml)	
総容量	2,610
沈殿分離室	1,759
接触ばっ気室	0,528
沈殿室(消毒室を含む)	0,323
消毒室	0,022

材料仕様	
躯体	強化ポリエステル
筒壁	〃
蓋	〃
接触材	炭酸化ビニル
セパレーター	強化ポリエステル
消毒室	〃
流入管	ABS樹脂
流出管	〃
通気管	〃
ダイフューザ	〃
点検口蓋	レジンコンクリート
その他部品	炭酸化ビニル・ポリエチレン等
フロア	形式DF 30,00V消費電力4.3 W

広島県し尿浄化槽連絡協議会昭和56年4月1日審査済第1-2号

浄化槽姿図 S=1:20

参考数量書

§ 工事名称 旧福山市農村女性の家解体工事

§ 工事場所 福山市沼隈町大字中山南18番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 旧福山市農村女性の家解体工事

工事場所 福山市沼隈町大字中山南18番地

【解体建物概要】
鉄筋コンクリート造一部C B造 2階建 延べ面積 247.88㎡

【その他構造物他】
浄化槽、雨水排水、附帯建築設備

本棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部養生		1	式			別紙 00-0008
単管一本足場	掛払い手間 10m未満 -	353	m ²			
単管一本足場	供用30日賃料 修理費含む 10m未満 -	353	m ²			
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 -	353	m ²			
防音シート張り	掛払い手間 -	353	m ²			
防音シート張り	供用30日賃料 修理費含む -	353	m ²			
防音シート張り	基本料 修理費含む -	353	m ²			
計						
脚立足場 (外部)	脚立足場 階高4.0m以下	1	式			別紙 00-0010
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	34.3	m ²			
内部仕上足場	供用20日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	34.3	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	34.3	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0002
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	248	m ²			
内部足場	供用20日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	248	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	248	m ²			
計						

